

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X-H1

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>



章目次

メニュー一覧

iv

1 このカメラの概要

1

2 撮影の準備

25

3 基本的な撮影と再生

43

4 動画の撮影と再生

49

5 撮影に関する設定

55

6 撮影メニュー

97

7 画像の再生と再生メニュー

151

8 セットアップメニュー

177

9 ショートカット機能

211

10 オプション品・外部機器の使い方

223

11 他機器との接続

241

12 資料

255

メニュー一覧

このカメラで利用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (P.97)。

10 画質設定		目録
1/3	画像サイズ	98
	画質モード	99
	RAW 記録方式	99
	フィルムシミュレーション	100
	グレイン・エフェクト	101
	ダイナミックレンジ	101
	D レンジ優先	102
2/3	ホワイトバランス	102
	ハイライトトーン	106
	シャドウトーン	106
	カラー	106
	シャープネス	106
	ノイズリダクション	107
	長秒時ノイズ低減	107
3/3	点像復元処理	107
	色空間	107
	ピクセルマッピング	108
	カスタム選択	108
カスタム登録 / 編集		109

AF MF フォーカス設定		
1/3	フォーカスエリア選択	110
	AF モード	111
	AF-C カスタム設定	112
	縦 / 横位置 AF モード切替	115
	AF ポイント表示  	115
	フォーカス点数切り替え	116
	プリ AF	116
	AF 補助光	116

AF/MF	フォーカス設定	
2/3	顔検出 / 瞳 AF 設定	117
	AF+MF	118
	MF アシスト	119
	フォーカスチェック	119
	測光&フォーカスエリア連動	120
	ワンブッシュ AF 時の動作	120
	被写界深度スケール	120
3/3	レリーズ優先 / フォーカス優先	120
	タッチパネルモード	121

📷 撮影設定		📖
1/2	ドライブ設定	123
	セルフタイマー	125
	インターバルタイマー撮影	126
	シャッター方式	127
	フリッカー低減	128
	感度 AUTO 設定	128
	ブレ防止モード	129
	マウントアダプター設定	129
2/2	多重露出	132
	ワイヤレス通信	133

フラッシュ設定		
	フラッシュ機能設定	134
	赤目補正	134
	TTL-LOCK モード	135
	LED ライト設定	135
	MASTER 設定	136
	CH 設定	136

📺 動画設定		📖
1/4	動画モード	137
	FULL HD ハイスピード撮影	138
	フィルム シミュレーション (動画)	139
	ダイナミックレンジ (動画)	139
	ホワイトバランス (動画)	140
	ハイライトトーン (動画)	140
	シャドウトーン (動画)	140
	カラー (動画)	141
2/4	シャープネス (動画)	141
	ノイズリダクション (動画)	141
	F-Log 撮影	141
	周辺光量補正 (動画)	142
	フォーカスエリア選択 (動画)	142
	動画 AF モード	142
	AF-C カスタム設定 (動画)	143
	プリ AF (動画)	143

📺 動画設定		📖
3/4	顔検出 / 瞳 AF 設定 (動画)	144
	MF アシスト (動画)	144
	フォーカスチェック (動画)	144
	HDMI 出力情報表示	145
	4K 映像出力先	145
	FULL HD 映像出力先	145
	4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)	146
	HDMI レックコントロール	146
4/4	オーディオ設定	146
	タイムコード設定	148
	タリーランプ	150
	動画サイレント操作	150

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

📖 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 157)。

📺 再生メニュー		📖
1/3	スロット切り替え	157
	RAW 現像	158
	消去	160
	同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)	162
	トリミング	162
	リサイズ	163
	プロテクト	164
	画像回転	165

📺 再生メニュー		📖
2/3	赤目補正	166
	ボイスメモ設定	167
	画像コピー	168
	画像転送予約	169
	ワイヤレス通信	170
	スライドショー	170
	フォトブックアシスト	171
	PC 保存	172
3/3	プリント予約 (DPOF)	173
	instax プリンタープリント	174
	表示比率	175

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (177)。

 基本設定	
フォーマット	178
日時設定	179
世界時計	179
言語/LANG.	180
マイメニュー設定	180
センサークリーニング	181
リセット	181

 音設定	
AF 合焦音量	182
セルフタイマー音量	182
操作音量	182
シャッター音量	183
シャッター音	183
再生音量	183

表示設定		目次
1/3	EVF 明るさ	184
	EVF 鮮やかさ	184
	EVF 色調整	184
	LCD 明るさ	185
	LCD 鮮やかさ	185
	LCD 色調整	185
	撮影画像表示	186
	縦横自動回転表示	186
2/3	マニュアル時モニター露出 / WB 反映	187
	ナチュラルライブビュー	187
	フレーミングガイド	188
	縦横自動回転再生	188
	距離指標の単位	189
	シネマレンズ使用時の絞り単位	189
	2 画面モード表示設定	189
	画面のカスタマイズ	190
3/3	サブ液晶モニター設定	191
	サブ液晶モニター背景色	191

操作ボタン・ダイヤル設定

1/3	フォーカスレバー設定	192
	クイックメニュー登録 / 編集	193
	ファンクション (Fn) 設定	194
	セレクターボタン設定	196
	コマンドダイヤル設定	196
	感度ダイヤル設定 (H)	197
	感度ダイヤル設定 (L)	197
	感度ダイヤル設定 (A)	197
2/3	半押し AF	198
	半押し AE	198
	レンズなしリリース	198
	カードなしリリース	199
	フォーカスリング	199
	フォーカスリング操作	199
	AE/AF-LOCK 設定	199
	露出補正ボタン設定	200
3/3	絞りリング設定 (A)	200
	絞り設定	200
	タッチパネル設定	201
	ロック	201

消費電力設定

自動電源 OFF	202
パフォーマンス	202

保存設定

コマ NO.	203
処理前画像記録	204
ファイル名編集	204
カードスロット設定 (静止画記録)	204
スロット選択 (📷 順次記録時)	204
スロット選択 (📷 順次記録時)	205
フォルダ選択	205
著作権情報	205

接続設定

Bluetooth 設定	206
ネットワーク設定	207
PC 保存	207
instax プリンター接続設定	208
PC 接続モード	209
共通設定	210
情報表示	210
ワイヤレス設定初期化	210



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
章目次	iii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	v
セットアップメニュー	vi
目次	viii
付属品一覧	xvii
本書について	xviii
本書で使われている記号について	xviii
画面のイラストや写真について	xviii
表記について	xviii

1 このカメラの概要

1

カメラの各部名称と機能	2
銘板プレート	4
セレクトボタン	4
フォーカスレバー	4
シャッタースピードダイヤル / 感度ダイヤル	5
測光ダイヤル	5
ドライブダイヤル	6
コマンドダイヤル	7
インジケーターランプ	8
視度調節ダイヤル	8
液晶モニター	9
撮影時の表示画面	10
EVF の表示画面	10
LCD の表示画面	12
縦表示について	13
EVF と LCD の切り替え	14
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	14
アイカップ	15
情報表示の切り替え	15
2 画面について	16
「スタンダード」画面の表示について	17
サブ液晶モニター	19
メニューの使い方	20

タッチ操作について	21
撮影時のタッチ操作について	21
再生時のタッチ操作について	24
2 撮影の準備	25
ストラップを取り付ける	26
レンズを取り付ける	28
バッテリーを充電する	29
バッテリーを入れる	32
メモリーカードを入れる	34
2 枚のメモリーカードを使用する場合	35
使用可能なメモリーカード	36
電源をオンにする / オフにする	37
バッテリー残量の表示	38
初期設定を行う	39
言語を変更する	41
日時を変更する	41
3 基本的な撮影と再生	43
プログラムで静止画を撮影する	44
▶ 静止画を再生する	47
⌂ 画像を消去する	48
4 動画の撮影と再生	49
📹 動画を撮影する	50
動画の設定について	52
▶ 動画を再生する	53
5 撮影に関する設定	55
P、S、A、M で撮影する	56
プログラム (P) 撮影	56
シャッタースピード優先 (S) 撮影	58
絞り優先 (A) 撮影	62
マニュアル (M) 撮影	63
オートフォーカス撮影	64
フォーカスモード	65
AF モードの選択	67
フォーカスエリアの変更	69
マニュアルフォーカス撮影	73
ピントの確認方法	75

ISO ISO 感度を変更.....	77
A (オート) 設定について.....	78
測光 測光モードを変更.....	79
露出 露出補正.....	80
AE/AF AE/AF ロック撮影.....	81
ボタンによる AE/AF ロック.....	82
BKT ブラケティング撮影.....	83
AE ブラケティング.....	83
ISO ISO ブラケティング.....	84
F フィルムシミュレーション BKT.....	84
WB ホワイトバランス BKT.....	84
DR ダイナミックレンジ BKT.....	84
連続 連続撮影 (連写).....	85
ADV. アドバンストフィルター撮影.....	87
アドバンストフィルターの種類.....	88
パノ パノラマ撮影.....	89
フラッシュ フラッシュ撮影.....	92
フラッシュ機能設定.....	94

6 撮影メニュー 97

撮影 撮影メニュー (画質設定).....	98
画像サイズ.....	98
画質モード.....	99
RAW 記録方式.....	99
フィルムシミュレーション.....	100
グレイン・エフェクト.....	101
ダイナミックレンジ.....	101
D レンジ優先.....	102
ホワイトバランス.....	102
ハイライトトーン.....	106
シャドウトーン.....	106
カラー.....	106
シャープネス.....	106
ノイズリダクション.....	107
長秒時ノイズ低減.....	107
点像復元処理.....	107
色空間.....	107
ピクセルマッピング.....	108
カスタム選択.....	108
カスタム登録 / 編集.....	109

 撮影メニュー（フォーカス設定）	110
フォーカスエリア選択.....	110
AF モード.....	111
AF-C カスタム設定.....	112
縦 / 横位置 AF モード切替.....	115
AF ポイント表示  	115
フォーカス点数切り替え.....	116
ブリ AF.....	116
AF 補助光.....	116
顔検出 / 瞳 AF 設定.....	117
AF+MF.....	118
MF アシスト.....	119
フォーカスチェック.....	119
測光 & フォーカスエリア連動.....	120
ワンプッシュ AF 時の動作.....	120
被写界深度スケール.....	120
レリーズ優先 / フォーカス優先.....	120
タッチパネルモード.....	121
 撮影メニュー（撮影設定）	123
ドライブ設定.....	123
セルフタイマー.....	125
インターバルタイマー撮影.....	126
シャッター方式.....	127
フリッカー低減.....	128
感度 AUTO 設定.....	128
ブレ防止モード.....	129
マウントアダプター設定.....	129
多重露出.....	132
ワイヤレス通信.....	133
 撮影メニュー（フラッシュ設定）	134
フラッシュ機能設定.....	134
赤目補正.....	134
TTL-LOCK モード.....	135
LED ライト設定.....	135
MASTER 設定.....	136
CH 設定.....	136
 撮影メニュー（動画設定）	137
動画モード.....	137
FULL HD ハイスピード撮影.....	138

フィルム シミュレーション (動画)	139
ダイナミックレンジ (動画)	139
ホワイトバランス (動画)	140
ハイライトトーン (動画)	140
シャドウトーン (動画)	140
カラー (動画)	141
シャープネス (動画)	141
ノイズリダクション (動画)	141
F-Log 撮影	141
周辺光量補正 (動画)	142
フォーカスエリア選択 (動画)	142
動画 AF モード	142
AF-C カスタム設定 (動画)	143
プリ AF (動画)	143
顔検出 / 瞳 AF 設定 (動画)	144
MF アシスト (動画)	144
フォーカスチェック (動画)	144
HDMI 出力情報表示	145
4K 映像出力先	145
FULL HD 映像出力先	145
4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)	146
HDMI レックコントロール	146
オーディオ設定	146
タイムコード設定	148
タリーランプ	150
動画サイレント操作	150

7 画像の再生と再生メニュー

151

再生時の表示画面	152
情報表示の切り替え	153
再生方法	155
再生ズーム	156
マルチ再生	156
 再生メニュー	157
スロット切り替え	157
RAW 現像	158
消去	160
同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)	162
トリミング	162
リサイズ	163

プロテクト.....	164
画像回転.....	165
赤目補正.....	166
ボイスメモ設定.....	167
画像コピー.....	168
画像転送予約.....	169
ワイヤレス通信.....	170
スライドショー.....	170
フォトブックアシスト.....	171
PC 保存.....	172
プリント予約 (DPOF).....	173
instax プリンタープリント.....	174
表示比率.....	175

8 セットアップメニュー

177

 セットアップメニュー (基本設定).....	178
フォーマット.....	178
日時設定.....	179
世界時計.....	179
言語/LANG.....	180
マイメニュー設定.....	180
センサークリーニング.....	181
リセット.....	181
 セットアップメニュー (音設定).....	182
AF 合焦音量.....	182
セルフタイマー音量.....	182
操作音量.....	182
シャッター音量.....	183
シャッター音.....	183
再生音量.....	183
 セットアップメニュー (表示設定).....	184
EVF 明るさ.....	184
EVF 鮮やかさ.....	184
EVF 色調整.....	184
LCD 明るさ.....	185
LCD 鮮やかさ.....	185
LCD 色調整.....	185
撮影画像表示.....	186
縦横自動回転表示.....	186
マニュアル時モニター露出 /WB 反映.....	187

ナチュラルライブビュー	187
フレーミングガイド	188
縦横自動回転再生	188
距離指標の単位	189
シネマレンズ使用時の絞り単位	189
2 画面モード表示設定	189
画面のカスタマイズ	190
サブ液晶モニター設定	191
サブ液晶モニター背景色	191
■ セットアップメニュー（操作ボタン・ダイヤル設定）	192
フォーカスレバー設定	192
クイックメニュー登録 / 編集	193
ファンクション (Fn) 設定	194
セレクトボタン設定	196
コマンドダイヤル設定	196
感度ダイヤル設定 (H)	197
感度ダイヤル設定 (L)	197
感度ダイヤル設定 (A)	197
半押し AF	198
半押し AE	198
レンズなしリリース	198
カードなしリリース	199
フォーカスリング	199
フォーカスリング操作	199
AE/AF-LOCK 設定	199
露出補正ボタン設定	200
絞りリング設定 (A)	200
絞り設定	200
タッチパネル設定	201
ロック	201
■ セットアップメニュー（消費電力設定）	202
自動電源 OFF	202
パフォーマンス	202
■ セットアップメニュー（保存設定）	203
コマ NO.	203
処理前画像記録	204
ファイル名編集	204
カードスロット設定（静止画記録）	204
スロット選択 (📷 順次記録時)	204

スロット選択 (👤 順次記録時)	205
フォルダ選択	205
著作権情報	205
🔧 セットアップメニュー (接続設定)	206
Bluetooth 設定	206
ネットワーク設定	207
PC 保存	207
instax プリンター接続設定	208
PC 接続モード	209
共通設定	210
情報表示	210
ワイヤレス設定初期化	210

9 ショートカット機能 211

ショートカット機能について	212
Q (クイックメニュー) ボタン	213
設定の確認と変更	214
クイックメニューの割り当て変更	215
Fn (ファンクション) ボタン	216
ファンクションボタンの割り当て変更	218
📱 マイメニュー	220
マイメニュー設定	220

10 オプション品・外部機器の使い方 223

外部フラッシュを使用する	224
外部フラッシュの使い方を設定する	225
同梱フラッシュ	226
シンクロターミナル	227
クリップオンフラッシュ	228
MASTER (光通信)	231
縦位置パワーブースターグリップ	235
パワーブースターグリップの取り付け方	236
バッテリーの入れ方 / 取り外し方	237
パワーブースターグリップの使い方	238
パワーブースターグリップの充電方法	239

11 他機器との接続 241

HDMI 出力	242
撮影画面の出力	242
再生画面の出力	242

無線通信で接続	244
スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)	244
パソコンに画像を保存する (FUJIFILM PC AutoSave)	246
PC 撮影機能を使用する (FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Tether Shooting Plug-in/Hyper-Utility Software HS-V5)	246
USB ケーブルでパソコンと接続	247
PC 撮影機能を使用する (FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Tether Shooting Plug-in/Hyper-Utility Software HS-V5)	250
メモリーカードに撮影した画像を転送する	250
RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)	251
instax SHARE プリンターと接続	252
プリンターとの接続を設定する	252
画像をプリントする	253

12 資料 255

カメラで使える別売アクセサリ	256
カメラで使えるソフトウェア	258
FUJIFILM Camera Remote	258
FUJIFILM PC AutoSave	258
MyFinePix Studio	258
RAW FILE CONVERTER EX 2.0	258
FUJIFILM X RAW STUDIO	259
FUJIFILM X Acquire	259
FUJIFILM Tether Shooting Plug-in (Lightroom 専用)	259
Hyper-Utility Software HS-V5	259
お取り扱いにご注意ください	260
お手入れについて	275
センサークリーニング	276
ファームウェア更新情報	277
ファームウェアバージョンの確認方法	277
トラブルシューティング / FAQ	278
警告表示	288
標準撮影枚数 / 記録時間	292
主な仕様	293
索引	299
ソフトウェアのお問い合わせ	304
アフターサービスについて	305

付属品一覧

ご使用の前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- バッテリーチャージャー BC-W126 (1 式)
- クリップオンフラッシュ EF-X8 (1 個)
- ボディキャップ (1 個)
- ストラップリング (2 個)
- ストラップリング取り付け補助具 (1 個)
- ストラップリングカバー (2 枚)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ケーブルプロテクター (1 個)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- シンクロターミナルキャップ (1 個) (本体に装着)
- 縦位置パワーブースターグリップ用端子カバー (1 個) (本体に装着)
- 使用説明書 (本書)
- 保証書 (1 部)



- レンズキットをお買い上げいただいたときは、交換レンズが付属していることをご確認ください。
- 縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1 キットをお買い上げいただいた場合は、上記に加え以下のものが付属していることをご確認ください。
 - 縦位置パワーブースターグリップ (1 個) (バッテリートレイ、端子キャップ含む)
 - 充電式バッテリー NP-W126S (2 個)
 - AC パワーアダプター AC-9VS (1 式)
 - グリップ用保証書 (1 部)
- このカメラで利用できるソフトウェアについては、 258 をご覧ください。

本書について

この説明書には、富士フイルムデジタルカメラ X-H1 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について



カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。



カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。



参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

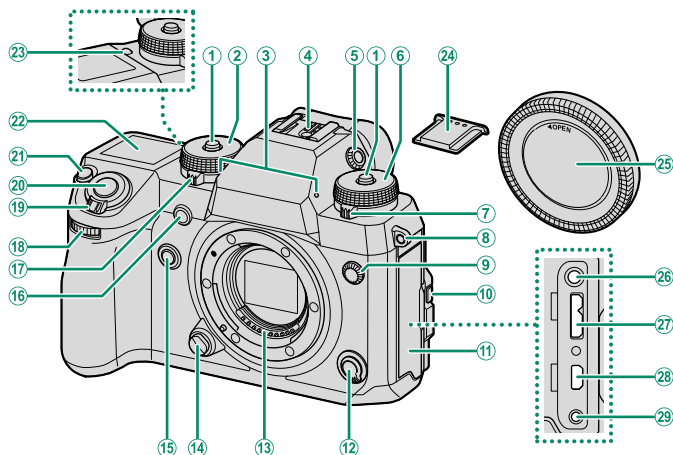
表記について

- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「**メモリーカード**」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「**EVF**」、液晶モニターを「**LCD**」と表記する場合があります。

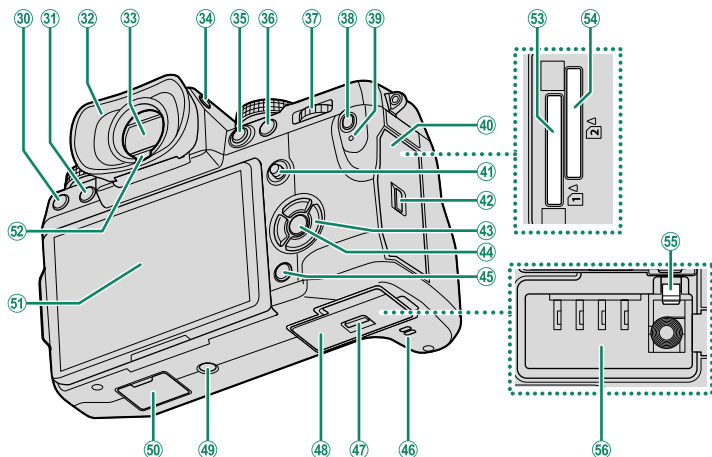
1

このカメラの概要

カメラの各部名称と機能



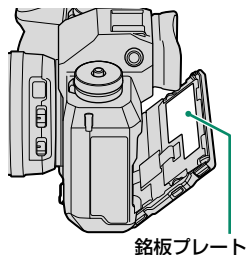
① ダイヤルロック解除ボタン	5	①⑦ 測光ダイヤル	79
② シャッタースピードダイヤル	5、56、58、62、63	①⑧ フロントコマンドダイヤル	7、196
③ マイク	51、146	①⑨ 電源レバー	37
④ ホットシュー	92、228	②⑩ シャッターボタン	46
⑤ 視度調節ダイヤル	8	②⑪ Fn1 ボタン	216
⑥ 感度ダイヤル	5、77、128	②⑫ (露出補正) ボタン	80
⑦ ドライブダイヤル	6	②⑬ サブ液晶モニター	19
⑧ ストラップ取り付け部	26	②⑭ サブ液晶モニター照明ボタン	19
⑨ シンクローターミナル	227	②⑮ ホットシューカバー	92、228
⑩ チルトロック解除ボタン	9	②⑯ ボディキャップ	28
⑪ 端子カバー	31、61、242、247	②⑰ マイク端子 (φ 3.5)	51
⑫ フォーカスモード切替レバー	65	②⑱ マイクロ USB 端子 (Micro-B)	31、61、247
⑬ レンズ信号接点		②⑲ USB3.0/USB2.0	
⑭ レンズ取り外しボタン	28	②⑳ HDMI マイクロ端子 (Type D)	242
⑮ Fn2 ボタン	216	②㉑ リモートリリース端子 (φ 2.5)	61
⑯ AF 補助光ランプ	116、150		
セルフトイマーランプ	125		



- | | | | |
|----------------------------------|-----------|----------------------------------|------------|
| ③⑩ 削除 (消去) ボタン | 48 | ④⑤ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン | 15、153 |
| ③① 再生 (再生) ボタン | 47 | ④⑥ スピーカー | 53、183 |
| ③② アイカップ | 15 | ④⑦ バッテリーカバーロック | 32 |
| ③③ ファインダー (EVF) | 8、10、14 | ④⑧ バッテリーカバー | 32 |
| ③④ VIEW MODE ボタン | 14 | ④⑨ 三脚用ねじ穴 | |
| ③⑤ AE-L (AE ロック) ボタン | 82、216 | ⑤① 縦位置パワーブースターグリップ用端子カバー | 235 |
| ③⑥ AF-ON ボタン | 82、216 | ⑤② チルト式液晶モニター (LCD) | 9、12、14 |
| ③⑦ リアコマンドダイヤル | 7、155、196 | タッチパネル | 21、121、201 |
| ③⑧ Q (クイックメニュー) ボタン | 213 | ⑤③ アイセンサー | 14 |
| ③⑨ インジケータランプ | 8、150 | ⑤④ メモリーカードスロット 1 | 34 |
| ④① メモリーカードスロットカバー | 34 | ⑤⑤ メモリーカードスロット 2 | 34 |
| ④② フォーカスレバー | 4、69、192 | ⑤⑥ バッテリー取り外しつまみ | 33 |
| ④③ メモリーカードスロットカバーロック | 34 | ⑤⑦ バッテリー挿入部 | 32 |
| ④④ セレクターボタン | 4、196 | | |
| ④⑤ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン | 20 | | |

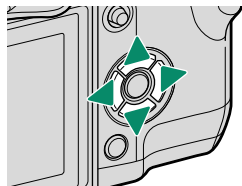
銘板プレート

FCC ID、KC マーク、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。



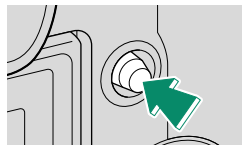
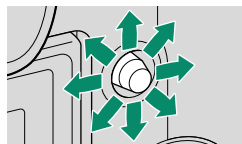
セレクターボタン

▲▼◀▶ (上下左右) ボタンを押してメニューなどの項目を選択できます。また、ファンクションボタン (**Fn3** ~ **Fn6**) としても使用できます (216)。



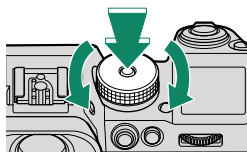
フォーカスレバー

フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。

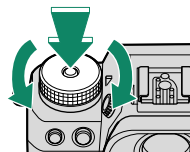


シャッタースピードダイヤル / 感度ダイヤル

シャッタースピード（**S.S.**）ダイヤルや感度ダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押して、ロックを解除してからダイヤルを回します。ロック解除ボタンをもう一度押すと、ダイヤルがロックされます。



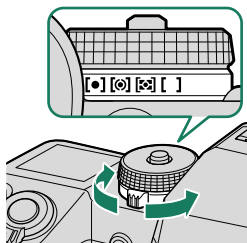
S.S. ダイヤル



感度ダイヤル

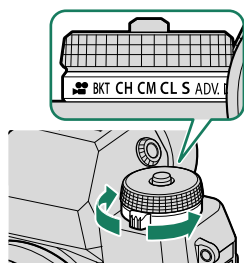
測光ダイヤル

測光ダイヤルでは、測光モードを設定できます。



ドライブダイヤル

ドライブダイヤルで、ドライブモードを選択できます。

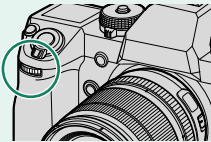
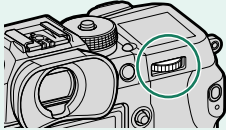


ドライブモード		
	動画	50
BKT	ブラケットिंग	83
CH	高速連写	85
CM	中速連写	
CL	低速連写	

ドライブモード		
S	1 コマ撮影	44
ADV.	アドバンスフィルター	87
	パノラマ	89

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
	- メニュータブ、ページの切り替え - 絞り値の変更^{*1、2} - ISO 感度の設定^{*2、3} - 前後の画像を表示（再生時）	
 回転	- メニュー項目の選択 - プログラムシフト - シャッタースピードの変更^{*2} - 露出補正（（露出補正）ボタンを押しながら回転） - クイックメニューの設定値を変更 - フォーカスエリアのサイズ変更 - 画像を再生ズーム（再生時） - 画像をマルチ再生（再生時）	
 中央押し	- 絞り値と ISO 感度の切り替え^{*2、3} - 長押しで、 操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定の設定切り替え	- ファンクション（ダイヤル）ボタン - ピント位置拡大表示^{*4} - マニュアルフォーカス時に長押しで、MFアシストの設定切り替え^{*4} - ピント位置拡大表示（再生時）

*1 絞りの設定が **A**（オート）で、 操作ボタン・ダイヤル設定 > 絞りリング設定 (**A**) がコマンドのとき、または絞りリングなしレンズを装着しているとき

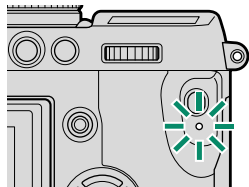
*2  操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定で設定を変更することができます。

*3 感度ダイヤルが **A** の位置で  操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (**A**) がコマンドのとき

*4 ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているときのみ

インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
	電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています。*
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

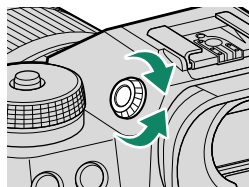
* 転送予約した画像がある場合



- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーをのぞいているときは、インジケータランプは点灯 / 点滅しません。
- 動画設定 > タリーランプで、動画の記録中に点灯するランプをインジケータランプから AF 補助光ランプに変えたり、点灯または点滅の設定を変更できます。

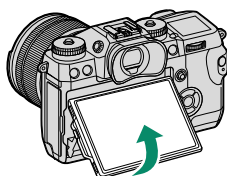
視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。調節できる視度の範囲は $-4 \sim +2\text{m}^{-1}$ (dpt) です。



液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。



 液晶モニターはタッチパネルとして操作できます。タッチパネルでは以下の操作ができます。

- タッチ操作による撮影 (図 22)
- フォーカスエリアの変更 (図 21)
- タッチファンクション (図 23)
- 動画サイレント操作 (図 23)
- 再生時の 1 コマ画面操作 (図 24)

縦向きチルトについて

このカメラでは、縦向きにしたときも縦方向に液晶モニターをチルトできます。縦位置（ローアングル/ハイアングル）撮影に便利です。

- チルトロック解除ボタンを押して、見やすい角度に調整してください (図 1)。
- 縦位置のハイアングル撮影では図のようにカメラを持ち替えると撮影しやすくなります (図 2)。

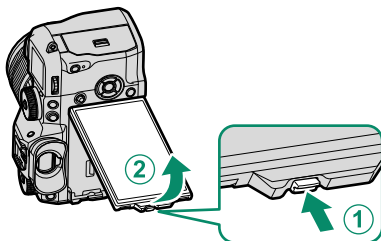


図 1

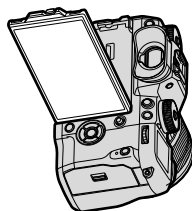


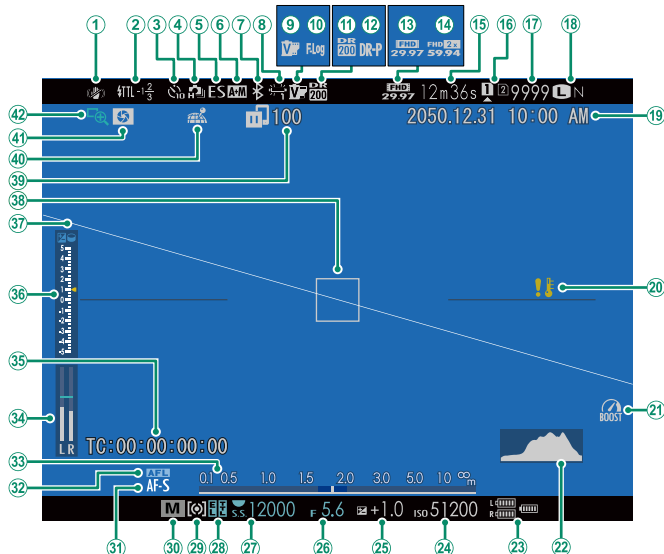
図 2

撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー（EVF） / 液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

EVF の表示画面

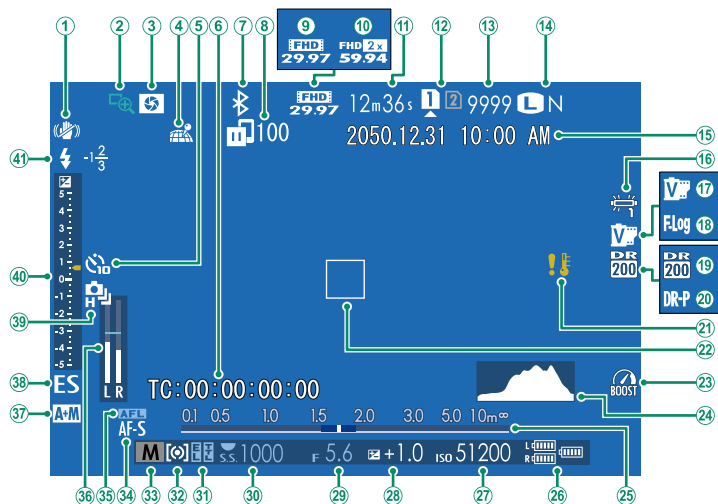


① プレ防止	129	②② ヒストグラム	18
② フラッシュ (TTL モード)	94、228	②③ バッテリー残量表示	38
調光補正	228	②④ ISO 感度	77
③ セルフタイマー	125	②⑤ 露出補正	80
④ 連写モード	85	②⑥ 絞り値	57、62、63
⑤ シャッター方式	127	②⑦ シャッタースピード	57、58、63
⑥ AF+MF	118	②⑧ AE ロック	82、199
⑦ Bluetooth ON/OFF	206	TTL ロック	135、195、219
⑧ ホワイトバランス	102	②⑨ 測光モード	79
⑨ フィルムシミュレーション	100	③⑩ 撮影モード	56
⑩ F-Log 撮影	141	③⑪ フォーカスモード*2	65
⑪ ダイナミックレンジ	101	③⑫ AF ロック	82、199
⑫ D レンジ優先	102	③⑬ 距離指標バー	75
⑬ 動画モード	50、137	③⑭ マイクレベル	146
⑭ FULL HD ハイスピード撮影	138	③⑮ タイムコード	148
⑮ 動画撮影の残り時間	51	③⑯ 露出インジケータ	63、80
⑯ カードスロット設定	35、204	③⑰ 電子水準器	18
⑰ 撮影可能枚数*1	292	③⑱ AF フレーム	69、81
⑱ 画像サイズ	98	③⑲ 画像転送状況	244
画質モード	99	④① 位置情報取得状態	210
⑲ 日付・時刻	39、41、179	④② 被写界深度確認	62、75
⑳ 温度警告	291	④③ フォーカスチェック	76、119
㉑ プーストモード	202、238		

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2 撮影状況によっては ③⑪ の位置には  (合焦マーク) または **MF** (マニュアルフォーカス) が表示される場合があります。

LCD の表示画面



① ブレ防止	129	②② AF フレーム	69、81
② フォーカスチェック	76、119	②③ ブーストモード	202、238
③ 被写界深度確認	62、75	②④ ヒストグラム	18
④ 位置情報取得状態	210	②⑤ 距離指標バー	75
⑤ セルフタイマー	125	②⑥ バッテリー残量表示	38
⑥ タイムコード	148	②⑦ ISO 感度	77
⑦ Bluetooth ON/OFF	206	②⑧ 露出補正	80
⑧ 画像転送状況	244	②⑨ 絞り値	57、62、63
⑨ 動画モード	50、137	②⑩ シャッタースピード	57、58、63
⑩ FULL HD ハイスピード撮影	138	②⑪ AE ロック	82、199
⑪ 動画撮影の残り時間	51	②⑫ TTL ロック	135、195、219
⑫ カードスロット設定	35、204	②⑬ 測光モード	79
⑬ 撮影可能枚数*1	292	②⑭ 撮影モード	56
⑭ 画像サイズ	98	②⑮ フォーカスモード*2	65
⑮ 画質モード	99	②⑯ AF ロック	82、199
⑯ 日付・時刻	39、41、179	②⑰ マイクレベル	146
⑰ ホワイトバランス	102	②⑱ AF+MF	118
⑱ フィルムシミュレーション	100	②⑲ シャッター方式	127
⑲ F-Log 撮影	141	②⑳ 連写モード	85
㉑ ダイナミックレンジ	101	②㉑ 露出インジケーター	63、80
㉒ D レンジ優先	102	②㉒ フラッシュ (TTL モード)	94、228
㉓ 温度警告	291	②㉓ 調光補正	228

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

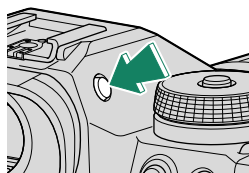
*2 撮影状況によっては ②⑮ の位置には  (合焦マーク) または **MF** (マニュアルフォーカス) が表示される場合があります。

縦表示について

カメラを縦向きで撮影するときは、 **表示設定 > 縦横自動回転表示** を **ON** にすると、ファインダー (EVF) または液晶モニター (LCD) の情報表示が縦向きになります。

EVF と LCD の切り替え

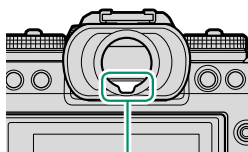
VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り替わります。



設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
 アイセンサー + LCD 撮影画像表示	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後に目を離すと液晶モニター表示で撮影画像を確認できます。

アイセンサーについて

- 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。
- 液晶モニターをチルトしている時はアイセンサーが無効になります。



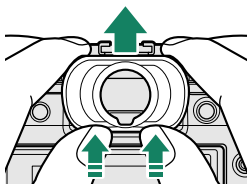
アイセンサー

EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ**でファインダー（EVF）の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整します。

アイカップ

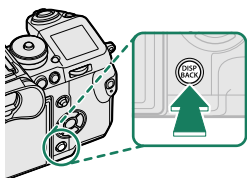
アイカップを取り外すときは、両手でアイカップの下部を押さえて、上に引き上げてください。



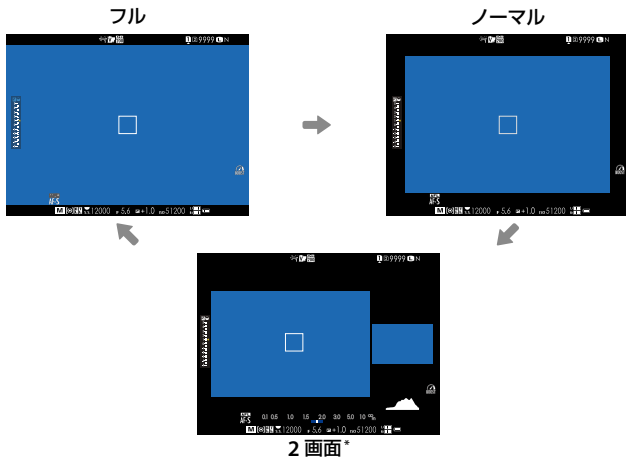
情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

 EVF と LCD は、それぞれ個別に表示の切り替えを行ってください。EVF の表示を切り替えるときは、ファインダーを覗きながら **DISP/BACK** ボタンを押してください。



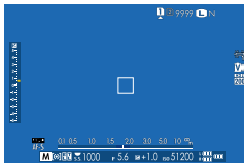
ファインダー（EVF）



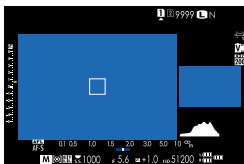
*「2画面」が表示されるのはマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のみです。

液晶モニター（LCD）

スタンダード



情報表示なし



2画面*



INFO画面

*「2画面」が表示されるのはマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のみです。

2画面について

「2画面」表示では、撮影画面全体を表示する親画面（大きい画面）とピントを合わせた位置を拡大表示する子画面（小さい画面）の2画面を表示します。



「2画面」の表示は、**表示設定 > 2画面モード表示設定**で、親画面と子画面に表示する内容を入れ替えることができます。

「スタンダード」画面の表示について

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

1 DISP/BACK ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。

2 セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ**を選びます。

3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目には、**✓** が表示されます。**✓** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| • フレーミングガイド | • フラッシュ |
| • 電子水準器 | • 連写モード |
| • AF フレーム | • プレ防止 |
| • AF 時の距離指標 | • タッチパネルモード |
| • MF 時の距離指標 | • ホワイトバランス |
| • ヒストグラム | • フィルムシミュレーション |
| • ライブビューハイライト警告 | • ダイナミックレンジ |
| • 撮影モード | • プーストモード |
| • 絞り / シャッター速度 / ISO | • 撮影可能枚数 |
| • 情報表示背景 | • 画像サイズ & 画質モード |
| • 露出補正表示 | • 動画モード & 録画時間 |
| • 露出補正ゲージ | • 画像転送予約 |
| • フォーカスモード | • マイクレベル |
| • 測光 | • バッテリー残量表示 |
| • シャッター方式 | • 画面枠 |

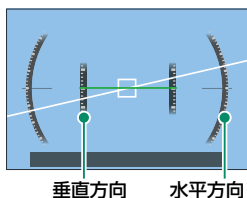
4 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。

設定が保存されます。

5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。**電子水準器**を割り当てたファンクションボタンを押すと、図のような3D表示になります（図 194、218）。

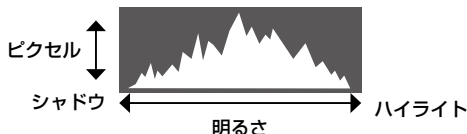


画面枠について

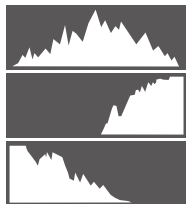
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに**画面枠**をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。



- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



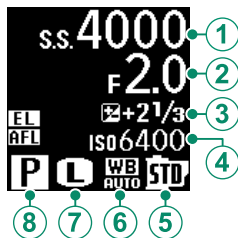
ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGBヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（図 194、218）。

- ① 高輝度部分が点滅
- ② RGBヒストグラム表示



サブ液晶モニター

サブ液晶モニターにはカメラの設定を、テキスト表示 (①～④) とアイコン表示 (⑤～⑧) でそれぞれ4つずつ表示できます。表示する項目は **表示設定 > サブ液晶モニター設定** で選択できます。



工場出荷時の設定

工場出荷時の設定と変更できる項目は次のとおりです。

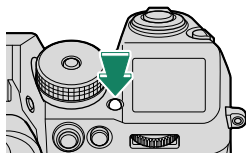
	テキスト表示	アイコン表示
工場出荷時	① シャッター速度*	⑤ フィルムシミュレーション*
	② 絞り*	⑥ ホワイトバランス*
	③ 露出補正表示*	⑦ 画像サイズ
	④ ISO*	⑧ 撮影モード*
設定可能な項目	・動画モード* ・撮影枚数 ・録画時間* ・なし*	・測光* ・ドライブモード ・フォーカスモード* ・画質モード ・バッテリー残量表示* ・カードスロット設定* ・シャッター方式 ・ダイナミックレンジ ・動画モード ・なし*



静止画撮影時と動画撮影時の項目をそれぞれ別々に変更できます。[*] は、動画撮影時に表示可能な項目です。

サブ液晶モニター照明ボタン

サブ液晶モニターが見えづらいつきなどは、サブ液晶モニター照明ボタンを押すと、サブ液晶モニターの照明が点灯します。もう一度押すと、照明が消灯します。

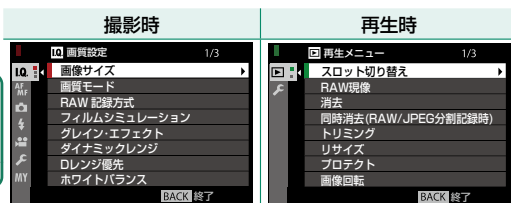
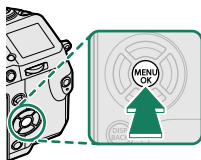


サブ液晶モニター背景色について

表示設定 > サブ液晶モニター背景色 でサブ液晶モニターの背景色を黒 (黒背景) または白 (白背景) に設定できます。サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。



使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。



- 2 ◀ でタブ選択に移ります。



タブ

- 3 ▲ または ▼ で使用する項目のメニュータブ (IQ/AF/CF/1/2/3/4/5/6/7/8/9/0) を選びます。

- 4 ▶ でメニューに戻ります。

メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

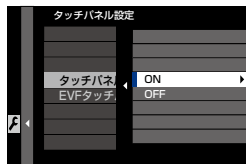
タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

撮影時のタッチ操作について

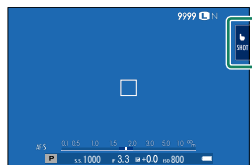
EVF 使用時のタッチ操作について

ファインダー（EVF）を使用しているときに液晶パネル（LCD）をタッチパネルとして使用して、フォーカスエリアを変更できます。**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル ON/OFF** を **ON** にして、**EVF タッチパネル有効範囲**で動作範囲を設定すると、液晶パネル（LCD）がタッチパネルとして使用可能になります。



LCD 使用時のタッチ操作について

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタッチすると、タッチ操作を変更できます。



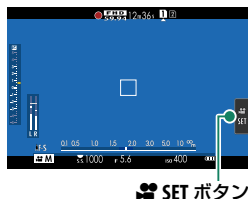
タッチパネルモード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして撮影します。
 AF	- フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。 - フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした場所にピントを合わせ続けます。
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチによるフォーカス切り替え、ピント合わせ、撮影を行いません。



- 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル ON/OFF**
 が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- フォーカス設定 > タッチパネルモード**でもタッチ操作を切り替えることができます。撮影時のタッチ操作の詳細については、[121](#) をご覧ください。

動画サイレント操作

撮影メニューの **動画設定** > **動画サイレント操作** を **ON** にすると、液晶モニターに **SET** ボタンが表示されます。**SET** ボタンを押すと、タッチ操作で次の撮影時の設定を変えられます。動画撮影中にカメラの操作音を記録したくないときに便利です。



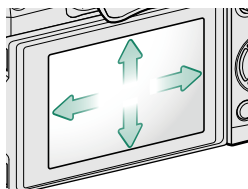
SET ボタン

- シャッタースピード*
- 絞り*
- 露出補正
- 感度
- 内蔵マイクレベル設定／外部マイクレベル設定
- 風音低減
- ヘッドホン音量
- フィルム シミュレーション (動画)
- ホワイトバランス (動画)

* 動画サイレント操作が **ON** のときは、ダイヤル操作は無効になります。

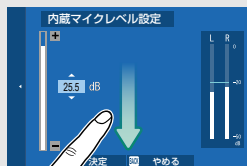
タッチファンクション

このカメラでは、画面を左右上下にフリックすることで、ファンクションボタンと同様に機能呼び出すことができます (216)。



- **T-Fn1** (画面を上フリック)
- **T-Fn2** (画面を左フリック)
- **T-Fn3** (画面を右フリック)
- **T-Fn4** (画面を下フリック)

割り当てた機能によっては、設定画面を表示後、項目の設定をタッチ操作で行えます。



再生時のタッチ操作について

操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル ON/OFF
が **ON** のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

スワイプ



画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。

ダブルタッチ



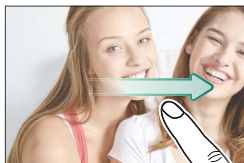
画面を2回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。

マルチタッチ (ピンチアウト)



画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。

ドラッグ



拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。

マルチタッチ (ピンチイン)



画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。

 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。

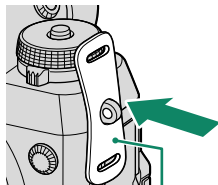
撮影の準備

2

ストラップを取り付ける

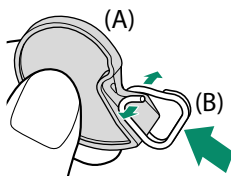
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

- 1 ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、カメラに取り付けます。



ストラップリングカバー

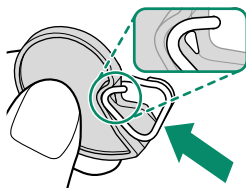
- 2 ストラップリング取り付け補助具 (A) を使ってストラップリング (B) の切りこみを広げます。



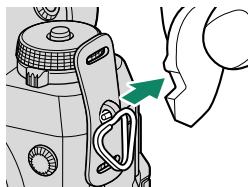
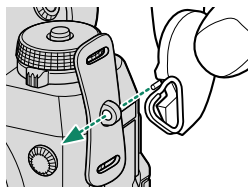
- 3 ストラップリングがストラップリング取り付け補助具の形状に収まる（突起に引っかかる）までしっかり押し込みます。



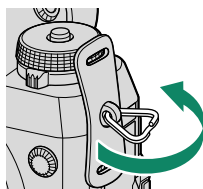
ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。



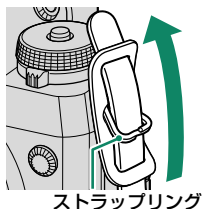
- 4** ストラップリングの切りこみをストラップ取り付け部に引っ掛けて、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



- 5** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



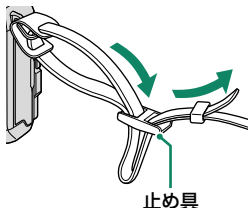
- 6** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通し、ストラップを止め具に通します。



ストラップリング



ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。



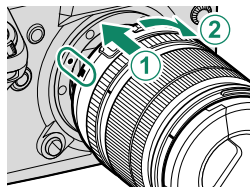
止め具

反対側も同様の手順を繰り返して取り付けます。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Xマウント対応のレンズが使用できます。

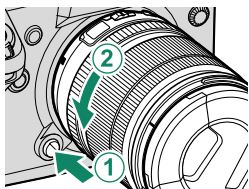
カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて (①)、レンズを回し (②) カメラにレンズを取り付けます。



- レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して (①)、矢印の方向にレンズを回してください (②)。



- レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。

別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Xマウント対応のアクセサリーが使用できます。



- レンズを取り付けたり取り外したりするとき (レンズ交換) は、以下のことにご注意ください。
- ゴミやほこりの付着に注意してください。
- 直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
- レンズキャップを取り付けて行ってください。
- レンズの使い方については、レンズの説明書をご覧ください。

バッテリーを充電する

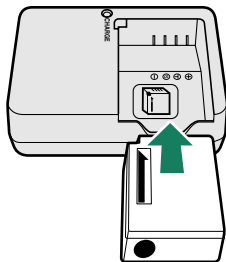
ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。



- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W126S です。
- 充電時間は約 150 分です。

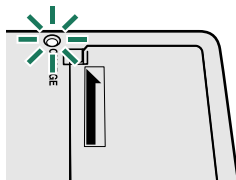
1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

図のように、指標 (矢印) の位置がバッテリーチャージャー内部のイラストと合っていることをご確認ください。



2 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。



3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。



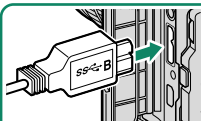
充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください。
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。



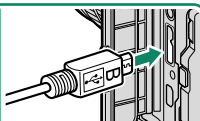
- 付属の AC コードは、バッテリーチャージャー BC-W126 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。
- 付属の充電器は 100 ～ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます（変換プラグアダプターが必要な場合があります）。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1～2日前)には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

パソコンに接続してバッテリーを充電する

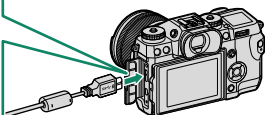
カメラにバッテリーを入れた状態でパソコンに接続すると、バッテリーを充電できます。カメラの電源はオフにして、USB ケーブルでパソコンと接続してください。



マイクロ USB 端子
(Micro-B) USB3.0



マイクロ USB 端子
(Micro-B) USB2.0



- インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- USB3.0 と USB2.0 のどちらのケーブルを使用しても充電時間は変わりません。

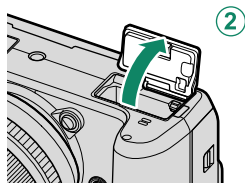
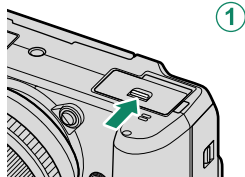
バッテリーを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

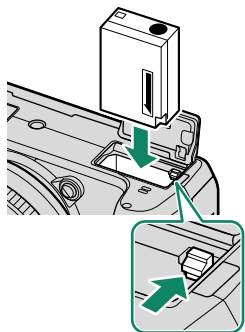


2 バッテリーを入れます。

図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

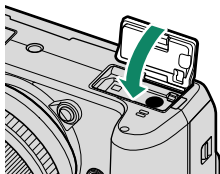


- バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



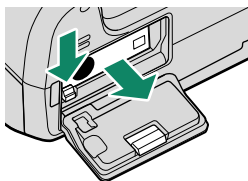
3 バッテリーカバーを閉めます。

- ❗ バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



- ❗ 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

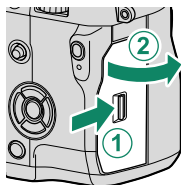
メモリーカードを入れる

撮影した画像は、市販のメモリーカードに記録します。

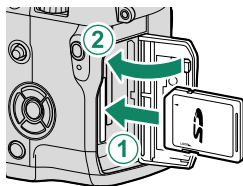


このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。

- 1 メモリーカードスロットカバーロックをスライドさせて、メモリーカードスロットカバーを開けます。



- 2 メモリーカードを入れ、メモリーカードスロットカバーを閉めます。



- 3 メモリーカードをフォーマット（初期化）します（[図 178](#)）。



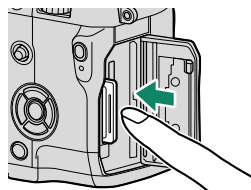
未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。



- カメラの電源がオンになっているときは、メモリーカードスロットカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。



- メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

2 枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。静止画のメモリーカードへの記録方法は、**保存設定 > カードスロット設定 (静止画記録)** で変更できます。

設定	説明	画面表示
順次記録 (工場出荷時設定)	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。 保存設定 > スロット選択 (📷 順次記録時) で最初に記録するカードをスロット2に設定しているときは、スロット2のメモリーカードの空きがなくなったらスロット1のメモリーカードに切り替わります。	
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	
RAW/JPEG 分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。この設定は 画質設定 > 画質モード が、 FINE+RAW または NORMAL+RAW のときのみに有効です。	

動画の記録先スロットは、**保存設定 > スロット選択 (🎥 順次記録時)** で変更できます。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- このカメラでは、UHS-II のメモリーカードに対応しています。
- 動画撮影をするときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。



- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

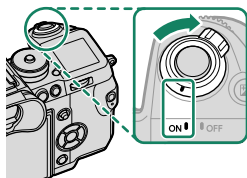
- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



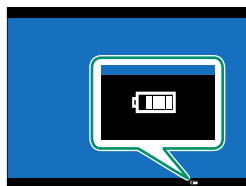
! レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- 📺** 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
 - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
 - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- 🔋消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80%です。
	バッテリーの残量は約 60%です。
	バッテリーの残量は約 40%です。
	バッテリーの残量は約 20%です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。また、このカメラでは、初期設定でスマートフォンとカメラをペアリングすることで、日時の自動設定やスマートフォンへの画像送信が簡単にできるようになります。以下の手順で初期設定を行ってください。

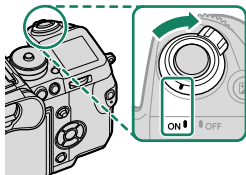


ペアリングを行う場合は、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールして、起動しておいてください。「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

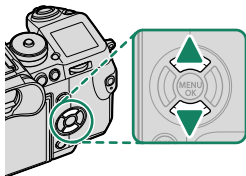
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

▲▼ で使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 スマートフォンとペアリングを行います。

MENU/OK ボタンを押して、「FUJIFILM Camera Remote」の**ペアリング登録**を押します。



ペアリングを行わない場合は、**DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップしてください。

4 ペアリングが完了すると、時刻の確認画面が表示されます。

表示されている時刻を確認します。



DISP/BACK ボタンを押すと、手動で時刻を設定できます（[図 41](#)）。



5 MENU/OK ボタンを押します。

確認した時刻がカメラに設定され、撮影画面が表示されます。



バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

設定の途中で **DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに再度、設定画面を表示させるかどうかを選べます。次回起動時に設定画面を表示させたくない場合は確認画面で**表示しない**を選んでください。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  **基本設定 > 言語/LANG.** を選びます。

2 言語を設定します。

▲▼ で使用する言語を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  **基本設定 > 日時設定** を選びます。

2 日時を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

日時が設定されます。

[illegible]

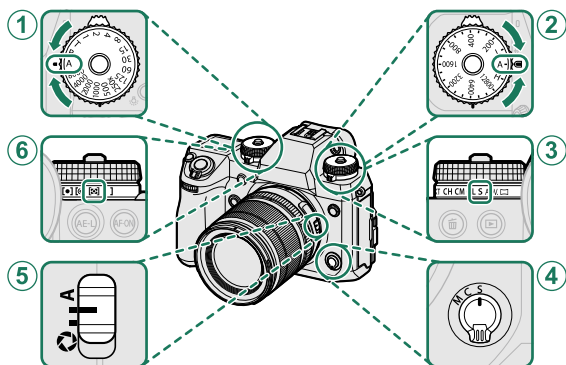
3

基本的な撮影と再生

プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（[図 56](#)）。

1 カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



設定		
① シャッタースピード	A（オート）	56
② ISO 感度	A（オート）	77
③ ドライブモード	S（1コマ撮影）	6
④ フォーカスモード	S（AF-S）	65
⑤ 絞り設定	A（オート）	56
⑥ 測光モード	（マルチ）	79



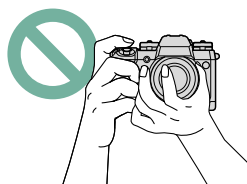
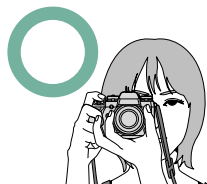
シャッタースピードダイヤルと感度ダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

2 撮影画面に P が表示されていることを確認します。



3 カメラを構えます。

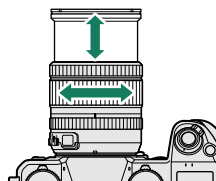
- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



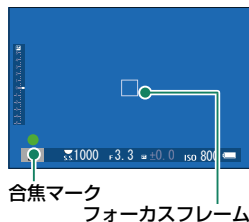
4 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



- 5 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



- **ピントが合うと**、ピピッと音が鳴り、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



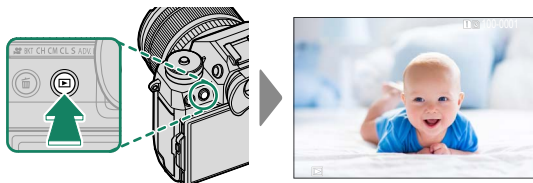
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

- 6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

▶ 静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。



- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに （プレゼントアイコン）が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりすることがあります。

再生するメモリーカードについて

- ▶ ボタンを長押しすると、再生するメモリーカードを切り替えることができます。
- ◀ 再生メニュー > スロット切り替えからも再生するメモリーカードの切り替えができます。



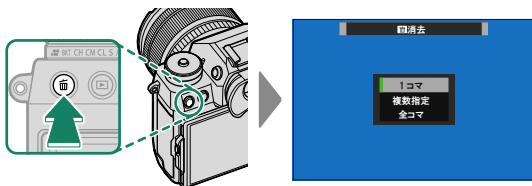
画像を消去する

1 コマ再生時に ボタンを押すと、画像を消去できます。



誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 コマ再生中に ボタンを押して、1 コマを選びます。



2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。



- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (164)。
- **再生メニュー** > **消去** でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去** をご覧ください (160)。

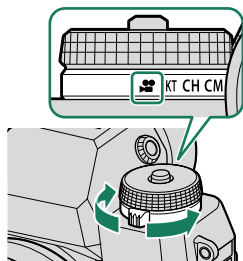
4

動画の撮影と再生

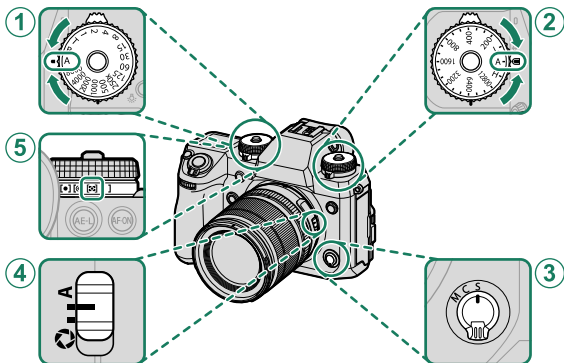
動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1 ドライブダイヤルを （動画）に合わせます。



- 2 カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



設定		
① シャッタースピード	A（オート）	56
② ISO 感度	A（オート）	77
③ フォーカスモード	S（AF-S）	65
④ 絞り設定	A（オート）	56
⑤ 測光モード	 （マルチ）	79

 シャッタースピードダイヤルと感度ダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。

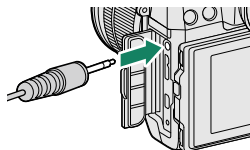


4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクはプラグインパワーを必要としないφ 3.5mm ピンで取り付けるものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。



- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

動画の設定について

動画の設定は撮影メニューの **動画設定** で変更できます (137)。



背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

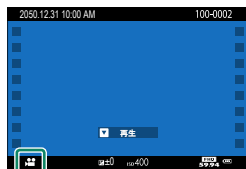


- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。**動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプの切り替え（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）や点灯または点滅の設定を変更できます。
- ズームリングがあるレンズを使用している場合は、動画撮影中もズームリングでズーム操作が行えます。
- 絞りモードスイッチの設定 (**A** または **A** 以外) は、動画撮影前に行ってください。絞りモードスイッチが **A** 以外のときは、動画撮影中もシャッタースピードや絞り値の設定を変更できます。
- 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は ± 2 の範囲となります。
- 動画撮影中に感度を変更できます。
- 動画撮影中に **VIEW MODE** ボタンの操作で、アイセンサーの動きによる EVF と LCD の自動表示切り替えを行います。
- 動画撮影中は次の操作で AF のやり直しができます。
 - シャッターボタンの半押し
 - **AF-ON** ボタンの操作
 - タッチパネル操作
- 動画撮影中に**ヒストグラム**や**電子水準器**を割り当てたファンクションボタンを押すと、ヒストグラムや水準器を表示できます。
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画を記録するメモリーカードは **保存設定 > スロット選択 (順次記録時)** で変更できます。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**動画設定 > フォーカスエリア選択 (動画)** を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します (69)。

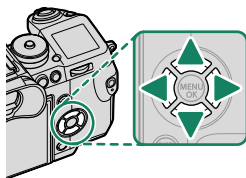
動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、 が表示されます。1 コマ再生時に動画を選択して ▼ を押すと、動画を再生できます。



動画再生時の操作は、セクターボタン (▲▼◀▶) で行います。



	1 コマ再生中	▶ 再生中	⏏ 一時停止中
▲ (上)	—	停止	
▼ (下)	再生	一時停止	再生
◀▶ (左右)	前後の画像に移動	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



 スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。

 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。

動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

5

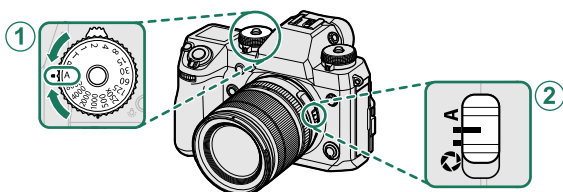
撮影に関する設定

P、S、A、Mで撮影する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

プログラム (P) 撮影

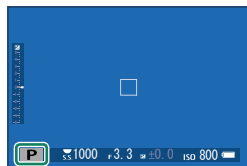
カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。



設定

①	シャッタースピード	A (オート)
②	絞り設定	A (オート)

表示画面に **P** が表示されます。

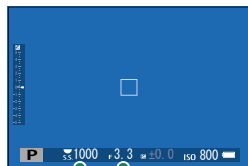


❗ 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

🔑 シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



絞り値
シャッタースピード



次のとき、プログラムシフトは使用できません。

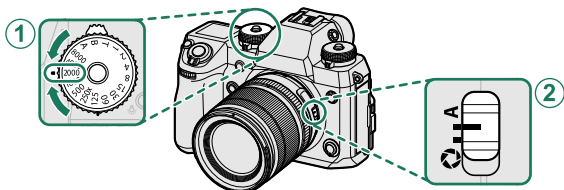
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- **画質設定 > ダイナミックレンジが AUTO のとき**
- ドライブダイヤルが **動画** のとき



電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

シャッタースピード優先 (S) 撮影

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。



設定

①	シャッタースピード	任意 (自分で設定)
②	絞り設定	A (オート)

表示画面に **S** が表示されます。



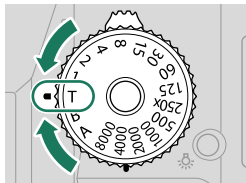
- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「—」と表示されます。

- 📌 シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
- リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを $1/3$ 段きざみで微調整できます。
- シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。

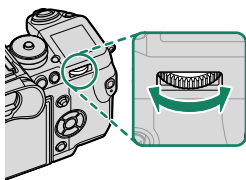
タイム撮影 (T)

シャッタースピードダイヤルを **T** に設定すると、タイム撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードダイヤルを **T** に合わせます。



- 2 リアコマンドダイヤルで露光時間を設定します。



- 3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。

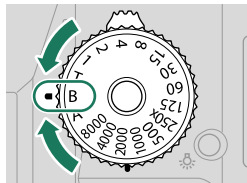
露光時間を 1 秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。

-  長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**10 画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

バルブ撮影 (B)

シャッタースピードダイヤルを **B** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードダイヤルを **B** に合わせます。



- 2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。

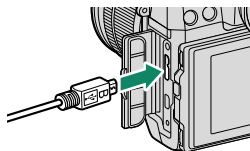


- 絞りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

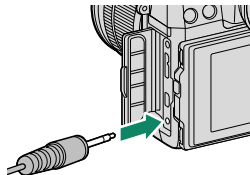
リモートリリースを使用する

長時間露光撮影時には、リモートリリースが便利です。

- 別売のリモートリリース RR-90 を使用するとき
は、マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0 に
取り付けます。

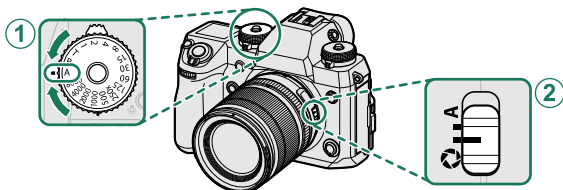


- 市販の電子式リモートリリースを使用するとき
は、リモートリリース端子 (φ 2.5 mm 3 極ミニ
ジャック) に取り付けます。



絞り優先 (A) 撮影

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。



設定

①	シャッタースピード	A (オート)
②	絞り設定	(自分で設定)

表示画面に **A** が表示されます。

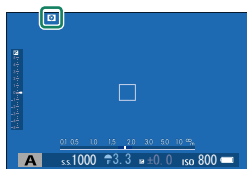


- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。

- ② シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
- 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
- シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

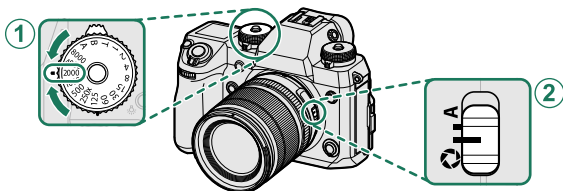
被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、**S** が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます。



マニュアル（M）撮影

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



設定

①	シャッタースピード	任意（自分で設定）
②	絞り設定	☉（自分で設定）

表示画面に **M** が表示されます。



- シャッタースピードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。
- 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
- リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを $1/3$ 段さざみで微調整できます。

露出設定プレビューについて

表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映 が **OFF** 以外のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

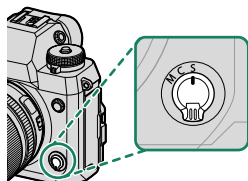


- フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出 / WB 反映** を **OFF** にしてください。

オートフォーカス撮影

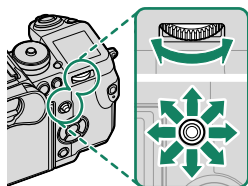
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定します (図 65)。



- 2 撮影メニューの  フォーカス設定 > AF モードから AF モードを選びます (図 67)。

- 3 フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (図 69)。



- 4 撮影します。

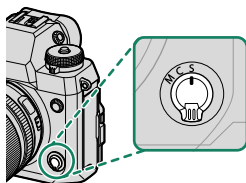


AF システムについては、以下のサイトも併せてご覧ください。

<http://fujifilm-x.com/af/ja/index.html>

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



フォーカスモードの種類

フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニュアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。 AF フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の瞳 AF は選択できません。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (p.73)。

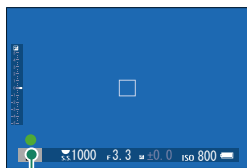


- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**AF フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。



合焦マーク

AF モードの選択

オートフォーカスモード（フォーカスモードが **S** または **C** のとき）と AF モードの組み合わせでさまざまな撮影シーンに応じたフォーカスエリアを選択できます。

AF モードの設定方法

1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

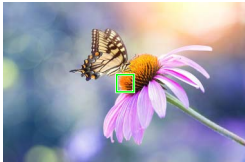
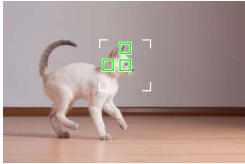
2  フォーカス設定 > AF モードを選びます。

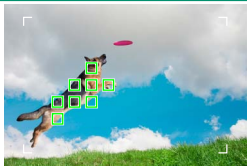
3 設定する AF モードを選びます。

 この設定はショートカット機能でも設定できます（ 212）。

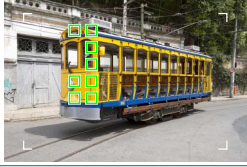
AF モードの種類

● フォーカスモードが S（AF-S）のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定した 1 点のフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	

設定	用途例	作例
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (69、70)、  シングルポイント 、  ゾーン 、  ワイド の順でフォーカスエリアを選択できます。	

● フォーカスモードが C (AF-C) のとき

設定	用途例	作例
 シングルポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したピンポイントのフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向けた AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンの中央で捉えた被写体に、常にピントを合わせ続けます。	
 トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (69、70)、  シングルポイント 、  ゾーン 、  トラッキング の順でフォーカスエリアを選択できます。	

フォーカスエリアの変更

フォーカスモードが**S**または**C**のときのフォーカスエリアを変更できます。

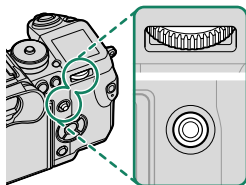
フォーカスエリアの変更方法

- 1 MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2** **フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
- 3** フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。

タッチ操作によるフォーカスエリアの変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください（[P.21](#)）。

フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AF** モードの設定によって操作が異なります。



AF モード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
	 8 方向移動	 中央押し	 回す	 中央押し
	移動した方向に フォーカスエリア が移動	フォーカスエリア が中央に戻る	サイズ変更 (6 段階)	100% に戻る
			サイズ変更 (3 段階)	
			なし	



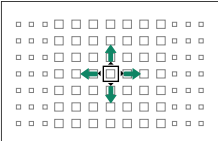
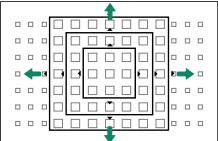
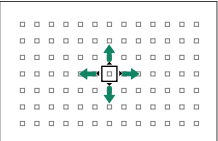
- **[C]** **トラッキング**のフォーカスエリアは、フォーカスモードが**C**のときのみ有効です。
- **AF** モードが **[ALL]** **オール**の場合は、フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと、**[S]** **シングルポイント**（サイズ6段階）、**[Z]** **ゾーン**（サイズ3段階）、**[W]** **ワイド**（AF-Sのとき）または**[T]** **トラッキング**（AF-Cのとき）の順でフォーカスエリアを選択できます。

フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。

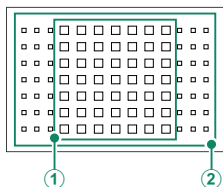


小さな四角（□）ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。

		
		
AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を 91 と 325 から選べます。	91 のフォーカスエリアポイントを 3×3 、 5×5 、 7×7 の範囲で選べます。	フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、 MENU/OK ボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。

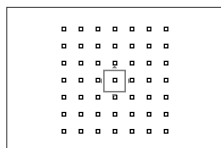
オートフォーカスが有効な範囲について

① インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF) と ② TTL コントラスト AF が有効な範囲は異なります。

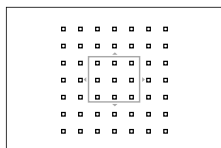


フォーカスエリアについて

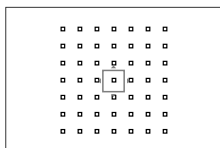
CH (高速連写) でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。



シングルポイント



ゾーン



トラッキング

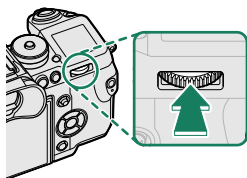
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前にある被写体など)

拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

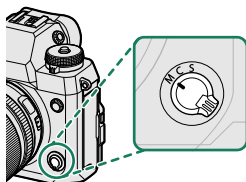


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、**フォーカス設定 > MF アシスト** で **デジタルスプリットイメージ** を設定しているときは、倍率変更できません (図 119)。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF モード** を **シングルポイント** に設定してください。
- フォーカスモードが **C** または **フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他の機能に割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます (図 218)。

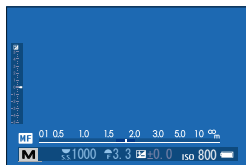
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **M** に設定します。

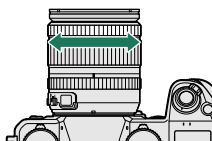


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。

- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリング**で設定できます。
- レンズ側で **M**（マニュアルフォーカス）を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M**（マニュアルフォーカス）で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

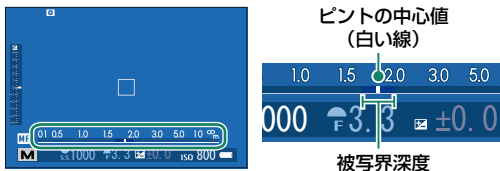
- **AF ロック**または **AF-ON** が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
-  **フォーカス設定 > ワンブッシュ AF 時の動作**で、AF ロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S**（シングル AF）のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C**（コンティニュアス AF）のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
 - 表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に ☒ を入れる。
 - DISP/BACK** ボタンを押して、**スタンダード**（情報表示あり）画面に切り替える。
- 被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール**で設定できます。**フィルム基準**はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準**はパソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

MF フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。



- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- MF** フォーカス設定 > MF アシストの設定がフォーカスピーキングまたはスタンダードのときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。デジタルスプリットイメージを設定しているときは、倍率変更できません。

画面に表示された画像で確認する

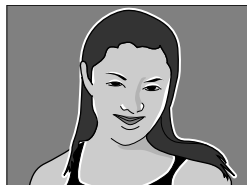
ピントの確認方法を **MF** フォーカス設定 > MF アシストのデジタルスプリットイメージまたはフォーカスピーキングから選べます。



リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、MF アシストの設定を切り替えることができます。

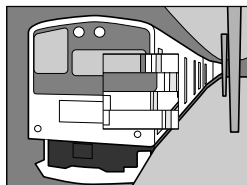
● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



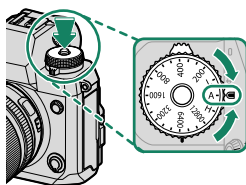
● デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



光に対する ISO 感度を変更できます。

ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してから感度ダイヤルを回して、ISO 感度を設定します。ISO 感度を設定したらダイヤルロック解除ボタンをもう一度押して、ダイヤルをロックします。



ダイヤル設定	説明
A (オート)	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。 撮影設定 > 感度 AUTO 設定 で AUTO1 、 AUTO2 、 AUTO3 の設定を選びます。
12800 ~ 200	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H (25600/51200) L (100/125/160)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。



- 拡張感度の H は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (H)** で **25600** または **51200** に設定できます。
- 拡張感度の L は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (L)** で **100**、**125**、**160** のいずれかに設定できます。
- 操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (A)** をコマンドに設定して感度ダイヤルを **A** にすると、フロントコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

A（オート）設定について

☑ 撮影設定 > 感度 AUTO 設定で感度ダイヤルを **A（オート）** に合わせたときの**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。

AUTO1、**AUTO2**、**AUTO3** にそれぞれ異なった値を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	12800 ～ 200	200		
上限 ISO 感度	12800 ～ 400	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/500 ～ 1/4 秒、 AUTO	AUTO		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

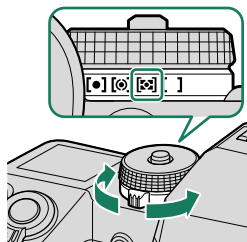


- 上限 ISO 感度よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- **低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。この時のシャッタースピードの目安は、「1/ 焦点距離」秒になります。

測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

測光ダイヤルで、使用する測光モードを設定します。



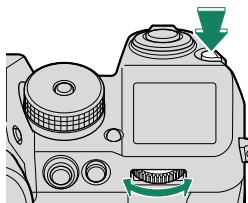
! 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**を**顔検出 OFF / 瞳 AF OFF**にしてください。

設定	説明
[•] (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
[⊙] (中央部重点)	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
[☒] (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、 [☒] (マルチ) をおすすめします。
[] (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

露出補正

画像の明るさを調整できます。

（露出補正）ボタンを押しながらリアコマンドダイヤルを回して、露出を補正します。



- モードによって補正段数が制限されることがあります。
- 露出補正の結果は撮影画面に反映されます。ただし、以下の設定では反映されないことがあります。
 - 露出補正量が±3段を超えたとき
 - ダイナミックレンジを **200**200%、**400**400% に設定したとき
 - **D** レンジ優先を強または弱に設定したとき

この場合、シャッターボタンを半押しすると、補正した明るさを液晶モニターまたはファインダーで確認できます。

なお、動画モードにおいてダイナミックレンジを **200**200%、**400**400% に設定、または、**F-log 撮影**を **ON** に設定している場合も露出補正が反映されないことがあります。この場合は撮影モードをマニュアル (**M**) にして直接露出を指定することで対応してください。

（露出補正）ボタンについて

-  操作ボタン・ダイヤル設定 > 露出補正ボタン設定が押下切替のときは、（露出補正）ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で、露出補正を割り当てるボタンを変更できます。

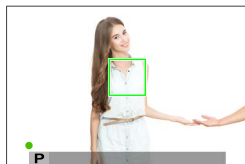
AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

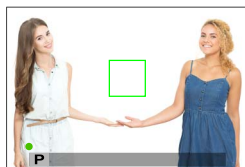
2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。



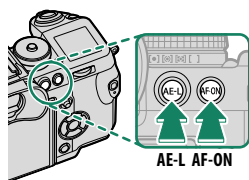
4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。



シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE** を **ON** にしておく必要があります。

ボタンによる AE/AF ロック

AE-L ボタンを使用すると、AE ロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。**AF-ON** ボタンに **AF LOCK** のみを割り当てた場合（ 194、216）、**AF-ON** ボタンを使用すると、AF ロックのみを行えます。

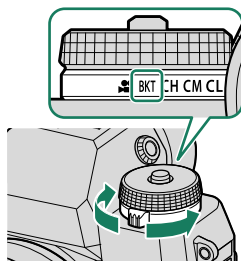


- **AE LOCK** のみ、**AF LOCK** のみ、または **AE/AF LOCK** が割り当てられているファンクションボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定** > **AE/AF-LOCK 設定** を押下切替にすると、**AE LOCK** のみ、**AF LOCK** のみ、**AE/AF LOCK** のいずれかが割り当てられているファンクションボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定** > **ファンクション (Fn) 設定** で、各機能に割り当てるボタンを変更できます（ 194、216）。

BKT ブラケットング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケットング撮影ができます。

- 1 ドライブダイヤルを **BKT**（ブラケットング）に合わせます。



- 2 使用したいブラケットングの種類と設定値を **撮影設定 > ドライブ設定 > BKT 設定** で選びます（[図 124](#)）。

ブラケットングの種類

AE ブラケットング

ISO ブラケットング

フィルムシミュレーション BKT

ホワイトバランス BKT

ダイナミックレンジ BKT

この設定はショートカット機能でも設定できます（[図 212](#)）。

- 3 撮影します。

AE ブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら選んだ撮影コマ数分連続撮影します。1 コマ/連続撮影やステップ幅、撮影順序なども設定できます。

アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した**ステップ数**で撮影されません。

ISO ブラケットिंग

撮影した 1 枚の画像から、設定した ISO 感度を変化させて 3 枚の画像を作成します。変化させる ISO 感度は $\pm 1/3$ 、 $\pm 2/3$ 、 ± 1 から選べます。

フィルムシミュレーション BKT

撮影した 1 枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて 3 枚の画像を作成します。

WB ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の 3 枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから ± 1 、 ± 2 、 ± 3 ステップの幅を設定できます。

DR ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3 枚連続で撮影します。



ISO 感度を固定値に設定しているときは自動的に ISO 800 以上になり、ISO 感度を **AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3** に設定しているときは ISO 200 ~ 800 になることがあります。ダイナミックレンジブラケットिंगを解除すると、ISO 感度は元の設定に戻ります。

BKT 設定について

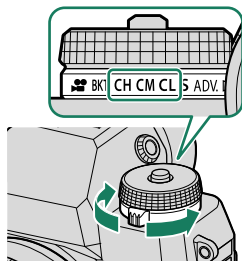
AE ブラケットिंग、ISO ブラケットिंग、フィルムシミュレーション BKT、ホワイトバランス BKT の場合、ブラケットिंगの設定は **撮影設定 > ドライブ設定 > BKT 設定** で変更できます。



連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 ドライブダイヤルを **CH**（高速連写）、**CM**（中速連写）、または **CL**（低速連写）に合わせます。



- 2 **CH** または **CL** の場合は、 **撮影設定 > ドライブ設定** で連写速度を選びます。**CM** での連写速度は常に約 6fps になります。



この設定はショートカット機能でも設定できます（ 212）。

- 3 撮影します。

シャッターボタンを押し続けている間、手順 2 の連写速度で連続撮影します。



シャッターボタンを放すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



- 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。

ピントや露出について

- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、**[Fn] 操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE を OFF** にしてください。
- ピントと露出を自動で変えながら撮影したいときは、**[Fn] 操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE を OFF** にし、フォーカスモードを **C** に設定してください。

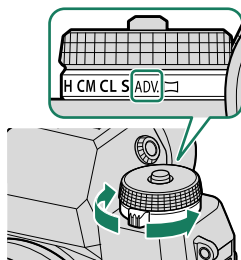


- **CH**（高速連写）でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。
- 絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、ピントや露出の自動調整が有効にならない場合があります。

ADV. アドバンストフィルター撮影

さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

- 1 ドライブダイヤルを **ADV.**（アドバンストフィルター）に合わせます。



- 2  撮影設定 > ドライブ設定 > ADV. フィルター設定で使用したいアドバンストフィルターを選びます。



この設定はショートカット機能でも設定できます（ 212）。

- 3 撮影します。

アドバンストフィルターの種類

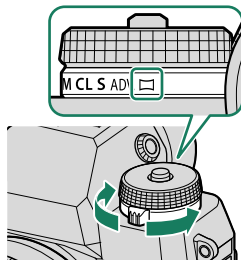
 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落ち着いたせつつ、ハイライト部分を強調します。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。
 パートカラー (レッド)	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー (オレンジ)	
 パートカラー (イエロー)	
 パートカラー (グリーン)	
 パートカラー (ブルー)	
 パートカラー (パープル)	

 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色味にならなかったりする場合があります。

パノラマ撮影

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

- 1 ドライブダイヤルを  (パノラマ) に合わせます。



- 2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

◀ で撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさ（**M**/**L**）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 撮影方向を選びます。

▶ で撮影方向を選択できます。撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

- 5 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



うまく撮影するには

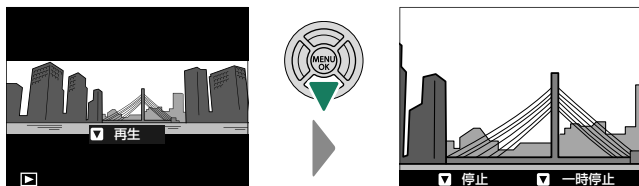
- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。
- ズーム位置を広角側に設定して、レンズの焦点距離を 35 mm（35 mm フィルム判で 50 mm 相当）以下で撮影することをおすすめします。



- 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様が変わる風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます（**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE が ON** のとき）。

パノラマ画像の再生

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



- パノラマ写真を1コマ再生しているときは、リアコマンドダイヤルを回して拡大/縮小表示できます。
- パノラマ再生時の操作は、セクターボタンで行います。

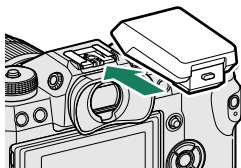
	1コマ再生中	再生中	一時停止中
▲ (上)	—	停止	
▼ (下)	再生	一時停止	再生
◀▶ (左右)	前後の画像を表示	再生方向の変更	コマ送り

フラッシュ撮影

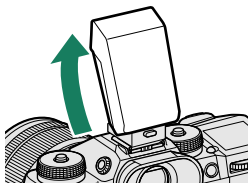
夜や暗い室内で撮影をするときは、同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 をお使いください。

- 1 ホットシューカバーを外して、ホットシューにフラッシュを取り付けます。

図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、フラッシュをスライドさせます。

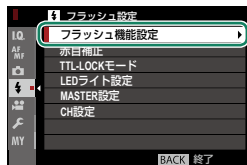


- 2 フラッシュを手動で起こし、ポップアップします。



- 3 撮影メニューの  フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

同梱フラッシュの設定画面が表示されます。



 フラッシュをポップアップしていない場合は、シンクロターミナルの設定画面が表示されます（[図 227](#)）。必ずフラッシュをポップアップしてから設定してください。

 この設定はショートカット機能でも設定できます（[図 212](#)）。

- 4 フラッシュの設定を変更します（[図 94](#)）。
▲▼◀▶で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



5 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。



- ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。
- 電子シャッターを使用しているときやパノラマ撮影などを行っているときは、フラッシュは発光しません。
- 撮影モードが **S** (シャッタースピード優先) または **M** (マニュアル) のときは、シャッタースピードを同調速度 **250X** よりも長い時間に設定してください。



TTL モードでは、フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

フラッシュ機能設定

同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 では、以下の項目を設定できます。



①モード（発光モード）

フラッシュの発光モードを選びます。

設定	説明
TTL	TTL 自動調光で発光します。 調光補正 で発光量を調整し、 TTL モード で TTL 撮影の発光モードを選択します。
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。 発光量 でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。
⚡ (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときに選択します。
OFF (OFF)	フラッシュを使用しません。 OFF に設定しても、シンクロナルターミナルに接続したフラッシュは撮影に同期して発光させることができます。シンクロナルターミナルに接続したフラッシュもオフにしたい場合は、EF-X8 をポップダウンしてから、フラッシュ機能設定メニューを開いてください。シンクロナルターミナルの動作設定が可能になります。

② 調光補正 / 発光量（発光強度）

フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。

③ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード（P、S、A、M）によって選択可能な設定が異なります。

設定	説明
 (フラッシュ 発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
 (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

④ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、

1 フラッシュ設定 > 赤目補正を OFF 以外に設定します。**2** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出を ON に設定する必要があります。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/250$ 秒以下です。

別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フイルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

他社製のフラッシュをお使いになるときのご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

撮影メニュー

6

撮影メニュー（画質設定）

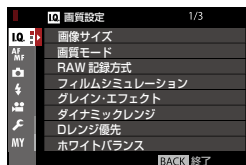
撮影時の画質に関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、

I.Q.（画質設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値

L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)
M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)
S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)



画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **FINE** または **NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（ 218）。再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている 画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します。「RAW FILE CONVERTER EX 2.0」( 258) や「FUJIFILM X RAW STUDIO」( 259) などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。 非圧縮に比べてファイルサイズが小さくなります。

フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色を抑えて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適しています。
 ETERNA/ シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画の撮影に適しています。
 ACROS *	質感が豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 モノクロ *	モノトーンの表現を活かしたモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

* 選んだフィルターの補色の色が濃くなります。**Ye** フィルターは青から紫系が濃くなり、**R** フィルターは青から緑系が深くなります。**G** フィルターは赤系、肌色系が深くなるので人物撮影などに適しています。



- フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (図 212)。
- フィルムシミュレーションについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/ja/x-stories/the-world-of-film-simulation-episode-1/>

グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を加えます。

設定	説明
強	効果を強くします。
弱	効果を弱くします。
OFF	使用しません。

ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定	おすすめ用途
AUTO (自動調整)	 曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
 100 100%  200 200%	
 400 400%	
	 コントラストの強いシーンでの、白とびを抑えます。

 ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

-  ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。
-  **200 200%**は ISO 感度が ISO 400 以上 ISO 12800 以下、 **400 400%**は ISO 800 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。

D レンジ優先

明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。

設定	説明
AUTO	明暗差に応じて、自動的に階調を補正します。
強	階調補正を強くします。明暗差の大きいシーンに適しています。
弱	階調補正を弱くします。明暗差のやや大きいシーンに適しています。
OFF	階調補正を行いません。



- **弱**はISO感度がISO400以上ISO12800以下、**強**はISO800以上ISO12800以下のときに設定できます。
- **D レンジ優先**が**OFF**以外に設定されている場合、**ハイライトトーン**、**シャドウトーン**、**ダイナミックレンジ**は自動的に設定されるため、変更することができなくなります。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

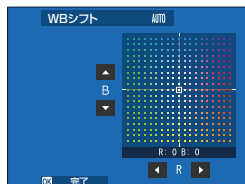
設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
W1/W2/W3	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
K	色温度を設定します。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 212）。

WB シフト

ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。**▲▼◀▶** でホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。

カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。



白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス（ $\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$ ）を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。



MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



3 シャッターボタンを全押しして設定します。



前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。



- 「OVER」と表示されたときは -（マイナス）側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは +（プラス）側に露出補正してから、再度測定してください。

K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



2 ▲▼ で色温度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。

 シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

3 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。

色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

ノイズリダクション

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみずみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値	
ON	OFF

色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

ピクセルマッピング

撮影画像の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**画質設定** タブを選びます。

2 ピクセルマッピングを選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、ピクセルマッピングを実行します。



- 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数秒程度かかることがあります。

カスタム選択

カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

設定	説明
カスタム 1	
カスタム 2	
カスタム 3	
カスタム 4	カスタム登録 / 編集で保存したカスタム 1 ～ 7 設定を呼び出します。
カスタム 5	
カスタム 6	
カスタム 7	

カスタム登録 / 編集

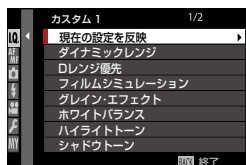
自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせで保存できます。保存した設定は、**IQ 画質設定 > カスタム選択**で呼び出せます。

- 1 撮影メニューから **IQ 画質設定 > カスタム登録 / 編集**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 設定を保存したい場所をカスタム 1 ～ 7 から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

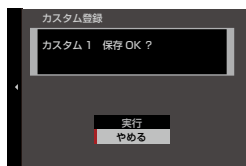


- 3 カスタムに保存できる項目は、個別に設定を変更できます。保存できる項目は次のとおりです。

- | | |
|---------------|------------|
| ・ダイナミックレンジ | ・ハイライトトーン |
| ・D レンジ優先 | ・シャドウトーン |
| ・フィルムシミュレーション | ・カラー |
| ・グレイン・エフェクト | ・シャープネス |
| ・ホワイトバランス | ・ノイズリダクション |



- 4 **DISP/BACK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、設定が保存されます。



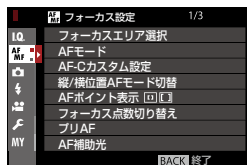
- ・現在の設定を反映を選択して **MENU/OK** ボタンを押すと、現在の設定がカスタム 1 ～ 7 に上書きされます。
- ・リセットを選択すると、登録されている設定がリセットされます。
- ・カスタム名編集を選択すると、カスタム 1 ～ 7 の名前を変更できます。

撮影メニュー（フォーカス設定）

撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
AF MF（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

設定	用途例
 シングル ポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。  フォーカス設定 > フォーカス点数切り替え でフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド/ トラッキング	• フォーカスモードが S のとき（ワイド）：シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。 • フォーカスモードが C のとき（トラッキング）：フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと（  69、70）、  シングルポイント 、  ゾーン 、  ワイド/トラッキング の順でフォーカスエリアを選択できます。

AF-C カスタム設定

フォーカスモードを**C**に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた**SET 1 ～ 5**を選びます。**SET 6 カスタム**で設定値を任意で設定することもできます。



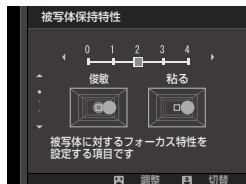
設定	説明
SET 1 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適応する標準的な設定です。
SET 2 障害物があるとき や、フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
SET 3 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
SET 4 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
SET 5 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
SET 6 カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。 SET 1 ～ 5 で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください（ 113、115）。

各設定の特性について

それぞれの設定は、**被写体保持特性**、**速度変化特性**、**ゾーンエリア特性**の設定値で構成されています。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。

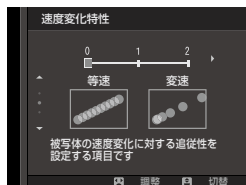


設定値				
0	1	2	3	4

- ❗ 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとします。

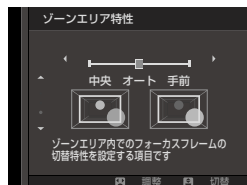


設定値		
0	1	2

- ❗ 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などの AF が苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

ゾーンエリア特性

ゾーン AF エリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを定める特性です。



設定	説明
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回 AF ではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、その後はロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。

! ゾーンエリア特性は AF モードに **□** ゾーンを選んでいるときのみ有効です。

SET 1 ～ 5 の特性について

SET 1 ～ 5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

SET 6 カスタムの設定手順

- 1 AF-C カスタム設定の SET 6 カスタムを選びます。



- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。
▲▼ で設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。
- 3 DISP/BACK ボタンで設定を決定します。
設定画面で ボタンを押すと、設定をリセットします。

縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときのフォーカスエリアポイントの位置を別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

AF ポイント表示

フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド / トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときや**マニュアルフォーカス**時（フォーカスモードが**M**のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
91 点 (7 × 13)	91 点 (7 × 13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
325 点 (13 × 25)	325 点 (13 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンス逃したくないときに有効です。

設定値	
ON	OFF



ON にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

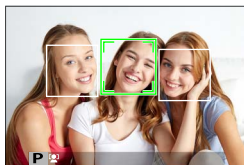
設定値	
ON	OFF



- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を **ON** にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、瞳 AF を **ON** にすると、目にピントを合わせることができます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに右目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- ❗
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
 - 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

- 📷
- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
 - カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。
 - 縦位置撮影時も顔を検出できます。
 - メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
 - この設定はショートカット機能でも設定できます（📖 212）。

AF+MF

ONにすると、フォーカスモードが**S**時にAFロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）のときにフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値

ON

OFF



- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを**S**、レンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。



MFアシストでスタンダードまたはフォーカスピーキングを選んでいる場合は、選んだMFアシストでピントの確認ができます。

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

AF フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にすると、**AF** モードがシングルポイントのときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回すと 2.5 倍または 6 倍に切り替えることができます。

MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です（デジタルスプリットイメージ/フォーカスピーキング機能を使用しません）。
デジタル スプリット イメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは モノクロ または カラー のいずれかを選べます。
フォーカス ピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

 リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MF アシスト**の設定を切り替えることができます。

フォーカスチェック

ON にすると、フォーカスモードが **S** またはマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF
 - リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。 - 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。	

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光が [●] スポットで AF モードがシングルポイントのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

ワンプッシュ AF 時の動作

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）の AF ロックを割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときのそれぞれを個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

タッチパネルモード

液晶画面（LCD）のタッチ操作で、撮影やフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

静止画撮影時のタッチ操作

タッチパネルモード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして撮影します。 連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
 AF	- フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 - フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした場所にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチによるフォーカス切り替え、ピント合わせ、撮影を行いません。

動画撮影時のタッチ操作

 動画撮影中にタッチ操作を行う場合は、撮影メニューの （動画設定）タブを選び、**動画 AF モード**を**エリア選択**にすることをおすすめします。タッチパネルモードによっては、動画 AF モードが**オートエリア**のままでも自動的に**エリア選択**に変更される場合があります。

タッチパネルモード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして動画撮影を開始します。 動画撮影を終了するときには、シャッターボタンを押してください。 タッチ操作はピント合わせとなり、動画は終了しません。 - フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。 - フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。

タッチパネルモード	意味
 AF	ピントを合わせたいところの画面をタッチして、ピント合わせを行います。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。 - フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。 - フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。 - フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、AF-ON ボタンを押してください (p.216)。 - フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。
 OFF	タッチによるフォーカス切り替え、ピント合わせ、撮影を行いません。

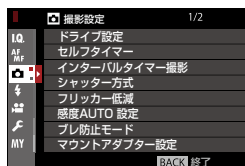
 **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル ON/OFF**
 が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

撮影メニュー（撮影設定）

撮影時の設定を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（撮影設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



ドライブ設定

ドライブモードの設定を変更できます。

設定	説明		
BKT 設定 (📖 124)	ドライブモードが BKT のときのブラケットングの種類やそれぞれの設定を変更できます。		
CH 高速連写	ドライブモードが CH （高速連写）のときの連写速度を設定します。		
	設定値		
	14fps	11fps	8.0fps
	• 14fps は電子シャッター使用時のみ、 11fps は電子シャッター使用時またはパワーブースターグリップ装着時のみ選べます。		
CL 低速連写	ドライブモードが CL （低速連写）のときの連写速度を設定します。		
	設定値		
	5.0fps	4.0fps	3.0fps
	ADV. フィルター設定	ドライブモードが ADV. のときのフィルター効果を設定します (📖 88)。	

BKT 設定

ドライブモードが **BKT** のときのブラケットングの種類やそれぞれの設定を変更できます。

設定	説明		
BKT 選択	ドライブモードが BKT のときのブラケットिंगの種類を選びます。		
	ブラケットिंगの種類		
	 AE ブラケットिंग		
	 ISO ブラケットिंग		
	 フィルムシミュレーション BKT		
	 ホワイトバランス BKT		
 ダイナミックレンジ BKT			
AE ブラケットिंग	BKT 選択が  AE ブラケットिंगのときの撮影コマ数などを設定できます。		
	サブメニュー	内容	
	コマ数 / ステップ数設定	AE ブラケットिंगで撮影するコマ数と明るさの変化量（ステップ数）を設定できます。 • コマ数：撮影するコマ数を選びます。 • ステップ数：明るさの変化量を選びます。	
	1 コマ / 連続	• 1 コマ：シャッターボタンを押すたびに 1 枚ずつ撮影します。 • 連続：シャッターボタンを 1 度押すと、コマ数 / ステップ数設定の設定にしたがって連続撮影します。	
	撮影順序設定	AE ブラケットिंगの撮影順序を設定できます。	
ISO ブラケットिंग	BKT 選択が  ISO ブラケットिंगのときの変化量を設定します。		
	設定値		
	$\pm 1/3$	$\pm 2/3$	± 1
フィルムシミュレーション BKT	BKT 選択が  フィルムシミュレーション BKT のときに撮影する 3 枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ設定します（  100）。		
ホワイトバランス BKT	BKT 選択が  ホワイトバランス BKT のときの変化量を設定します。		
	設定値		
	± 1	± 2	± 3

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定	説明
 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。



- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の撮影間隔と撮影回数を設定できます。

- 1 撮影メニューから 撮影設定 > インターバルタイマー撮影を選び、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



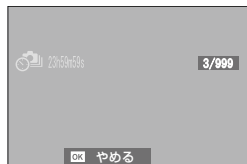
- 2 ▲▼◀▶ で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



- 3 ▲▼◀▶ で開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。



- バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。



- 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1 に付属している AC パワーアダプター AC-9VS をご使用ください。
- インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
- 撮影回数を ∞ に設定すると、メモリーカードに空きがなくなるまで撮影します。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
EF 電子先幕シャッター	シャッターボタンを押してから露光開始までの時間を短縮して撮影できます。
ME メカニカル + 電子	カメラが状況に応じて メカニカル または 電子シャッター で撮影します。
EF+M 電子先幕 + メカニカル	カメラが状況に応じて 電子先幕 または メカニカル で撮影します。
EF+M+E 電子先幕 + メカニカル + 電子	カメラが状況に応じて 電子先幕 、 メカニカル 、 電子シャッター のいずれかを使って撮影します。

ES 電子シャッター、**ME** メカニカル + 電子、**EF+M** 電子先幕 + メカニカル + 電子のいずれかに設定すると、シャッタースピードダイヤルを **8000** にしたあとにリアコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。

-  • 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
 - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分配慮の上、お客様の責任でお使いください。
- 電子先幕シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
- シャッタースピードが高速になるほど露光ムラが大きくなり、被写体のボケ像が欠けて写ることがあります。

 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- ISO 感度は 12800 ~ 200 に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。

フリッカー低減

ON にすると、蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。

設定値

ON

OFF



フリッカー低減を **ON** にすると、撮影にかかる時間が長くなります。また、電子シャッターは使えません。

感度 AUTO 設定

感度ダイヤルを **A** (オート) に合わせたときの **基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界** を設定できます。**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3** にそれぞれ異なった値を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	12800 ~ 200	200		
上限 ISO 感度	12800 ~ 400	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/500 ~ 1/4 秒、 AUTO	AUTO		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。



- 上限 ISO 感度よりも基準 ISO 感度を高く設定している場合は、上限 ISO 感度で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- 基準 ISO 感度と上限 ISO 感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- 低速シャッター限界を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。この時のシャッタースピードの目安は、「1/ 焦点距離」秒になります。

ブレ防止モード

手ブレを軽減します。

設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時などカメラが固定されている場合は、ブレ防止モードを OFF にしてください。 OFF のときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ（OIS スイッチ）がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることがあります。

マウントアダプター設定

別売の M マウントアダプター「FUJIFILM M MOUNT ADAPTER」を使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着したときに、レンズに合わせて焦点距離をカメラに設定できます。

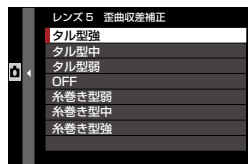
焦点距離設定

- ご使用のレンズの焦点距離が **21mm、24mm、28mm、35mm** のいずれかの場合は、マウントアダプター設定の**レンズ 1～4**からご使用のレンズの焦点距離を選んでください。
- **21mm、24mm、28mm、35mm** 以外のレンズをご使用になる場合は**レンズ 5**または**レンズ 6**を選び、▶を押して焦点距離設定メニューを表示させ、ご使用になるレンズの実焦点距離を▲▼◀▶で設定してください。



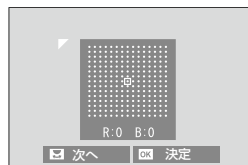
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。



色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。



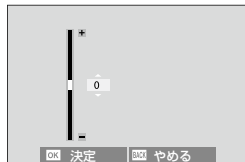
補正方法

- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 ▲▼◀▶ で補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - **レッド/シアン（横軸方向）**：-9 ～ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - **ブルー/イエロー（縦軸方向）**：-9 ～ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。

色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、**-5 ～ +5 と 0（ゼロ）**の計 11 段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

多重露出

2 枚の画像を重ねて 1 つの画像に合成します。



1 ドライブダイヤルを **S** (1 コマ撮影) に合わせてから、撮影メニューから **撮影設定 > 多重露出 > ON** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 1 枚目の画像を撮影します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

2 枚目の撮影画面になります。



- 1 枚目の画像を撮り直す場合は を押してください。
- DISP/BACK** ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



4 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。



5 **MENU/OK** ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が保存されます。



- 2 枚目の画像を撮り直す場合は を押してください。
- 多重露出撮影を終了するには、**多重露出** で **OFF** を選びます。



PC 撮影時に多重露出撮影はできません (P.209)。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/



撮影メニュー（フラッシュ設定）

撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（フラッシュ設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル」をご覧ください（[図 224](#)）。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光＋補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。



- 赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
- 顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
- RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます（図 218）。
- ロックしていても調光補正はできます。
- 直前の発光条件でロックを設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光 + キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

MASTER 設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4



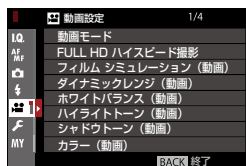
撮影メニュー（動画設定）

動画撮影に関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**Ⓜ**（動画設定）タブを選びます。

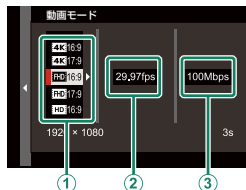


メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



動画モード

撮影する動画の画像サイズとアスペクト比、フレームレート、ビットレートを変更できます。



1 撮影メニューから **Ⓜ** 動画設定 > 動画モードを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 ▲▼ で動画の画像サイズとアスペクト比を選び (①)、▶ を押します。

- **4K 16:9**、**4K 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の 4K 動画を撮影します。
- **FHD 16:9**、**FHD 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16:9 または 17:9 の FULL HD 動画を撮影します。
- **HD 16:9** を選ぶと、アスペクト比 16:9 の HD 動画を撮影します。

3 ▲▼ でフレームレートを選び (②)、▶ を押します。

設定値					
59.94P	50P	29.97P	25P	24P	23.98P

4 ▲▼ でビットレートを選び (③)、**MENU/OK** ボタンを押します。

設定値		
200Mbps	100Mbps	50Mbps

FULL HD ハイスピード撮影

FULL HD のハイスピード動画を撮影するかどうかを設定できます。素早く動く被写体の撮影や、肉眼では確認しづらい一瞬のアクションもスローモーションのような映像で楽しむことができます。バッティングのスイング、動きの速い昆虫や水流などの撮影に有効です。

設定	説明
2x  59.94P  120P	フレームレートが 120fps または 100fps の FULL HD 動画を記録します。再生時はそれぞれ 2 倍、4 倍、5 倍のスロー再生になります。記録時間は最長 6 分です。
2x  50P  100P	
4x  29.97P  120P	
4x  25P  100P	
5x  24P  120P	
5x  23.98P  120P	
OFF	

ハイスピード動画は撮影しません。



音声は記録されません。

フィルム シミュレーション（動画）

動画撮影時のフィルムシミュレーションの設定を変更できます。

設定	説明
 STD PROVIA/ スタンダード	各フィルムの特徴は「フィルムシミュレーション」(P.100)を参照してください。
 V Velvia/ ビビッド	
 S ASTIA/ ソフト	
 C クラシッククローム	
 N PRO Neg. Hi	
 N PRO Neg. Std	
 E ETERNA/ シネマ	
 A ACROS	
 B モノクロ	
 SEPIA セピア	

ダイナミックレンジ（動画）

撮影する動画のダイナミックレンジを変更できます。

設定	説明
 100 100%	それぞれの設定については「ダイナミックレンジ」(P.101)を参照してください。
 200 200%	
 400 400%	



- 動画設定のダイナミックレンジ（動画）には、**AUTO**（自動調整）はありません。
-  **200** 200%はISO感度がISO 400以上ISO 12800以下、 **400** 400%はISO 800以上ISO 12800以下のときに設定できます。
- 動画設定 > **F-Log** 撮影が **OFF** の場合に設定できます。

ホワイトバランス（動画）

動画撮影時のホワイトバランスの設定を変更できます。

設定	説明
AUTO	それぞれの設定については「ホワイトバランス」（  102）を参照してください。
$\varnothing_1/\varnothing_2/\varnothing_3$	
	
	
	
	
	
	
	

ハイライトトーン（動画）

動画のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

シャドウトーン（動画）

動画のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

カラー（動画）

動画の色の濃さを設定します。色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

シャープネス（動画）

動画の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

ノイズリダクション（動画）

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

F-Log 撮影

ON にすると、撮影後の映像処理（ポストプロダクション）を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像として記録されます。最低 ISO 感度は 800 になります。

周辺光量補正（動画）

ON にすると、動画の周辺光量を補正します。



- 別売のMマウントアダプター「FUJIFILM M MOUNT ADAPTER」を使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着した場合、ON にすると、撮影メニューの **☑ 撮影設定 > マウントアダプター設定 > 周辺光量補正**（ 131）で設定した内容で、動画の周辺光量を補正します。
- 撮影した動画に縞模様が発生する場合は **OFF** にしてください。

フォーカスエリア選択（動画）

フォーカスモードが **S** または **C** のときに、動画撮影に使うピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

動画 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	カメラが自動的にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

AF-C カスタム設定（動画）

動画撮影時にフォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。被写体保持特性については、「AF-C カスタム設定」の「各設定の特性について」の「被写体保持特性」（ 113）を参照してください。

設定値				
0	1	2	3	4

AF 速度

AF でピントを合わせる速度を調整します。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

プリ AF（動画）

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。

設定値	
ON	OFF

 **ON** にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

顔検出 / 瞳 AF 設定 (動画)

動画撮影時の顔検出と瞳 AF の設定ができます。顔検出と瞳 AF については、「顔検出 / 瞳 AF 設定」(117) を参照してください。

設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	それぞれの設定については「顔検出 / 瞳 AF 設定」(117) を参照してください。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	



動画撮影時はフォーカスモード切換レバーを **S** にしても、**AF** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出が **ON** のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、顔検出を **ON** にしても顔検出は行われません。

MF アシスト (動画)

マニュアルフォーカス時 (フォーカスモードが **M** のとき) のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	それぞれの設定については「MF アシスト」(119) を参照してください。
デジタルスプリット イメージ	
フォーカスピーキング	

フォーカスチェック (動画)

ON にすると、フォーカスモードが **S** またはマニュアルフォーカス時 (フォーカスモードが **M** のとき) にフォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、動画撮影時のピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF

HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

4K 映像出力先

カメラを HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどに接続する場合、4K 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 4K  FHD	4K 映像はメモリーカードに記録され、外部レコーダーには FULL HD 映像が出力されます。
 FHD  4K	4K 映像は外部レコーダーに出力され、メモリーカードには FULL HD 映像が記録されます。
 —  4K	外部レコーダーに 4K 映像が出力されますが、メモリーカードには記録されません。

 あらかじめ、撮影メニューの  動画設定 > 動画モードで  16:9 または  17:9 を設定してください。

FULL HD 映像出力先

カメラを HDMI ケーブルで外部レコーダーなどに接続する場合、FULL HD 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 FHD  FHD	FULL HD 映像は、メモリーカードと外部レコーダーの両方に記録・出力されます。
 —  FHD	外部レコーダーに FULL HD 映像が出力されますが、メモリーカードには記録されません。

 あらかじめ、撮影メニューの  動画設定 > 動画モードで  16:9 または  17:9 を設定してください。

4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)

HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどとの接続時、スタンバイ中に HDMI 出力解像度を 4K から FULL HD に切り換えるかどうかを設定します。

設定	説明
	スタンバイ中も HDMI 出力解像度を 4K のまま維持します。
	スタンバイ中は HDMI 出力解像度を FULL HD に切り換えます。 バッテリーの消耗を抑えます。

HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	OFF

オーディオ設定

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

内蔵マイクレベル設定

内部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	▶ を押すと、マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	▶を押すと、マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値
ON
OFF

風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値
ON
OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値
ON
OFF

ヘッドホン音量

縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1 を装着した際のヘッドホン使用時の音量（0 ～ 10）を設定します。

設定	説明
10 ～ 1	音量を 1 ～ 10 に設定します。
0	音量をオフに設定します。

タイムコード設定

動画撮影時の時間を表すタイムコード（時間 / 分 / 秒 / フレーム）についての設定ができます。

タイムコード表示

ON を選ぶと、動画撮影画面や再生画面にタイムコードを表示します。

設定値	
ON	OFF

開始時間設定

タイムコード値を調整できます。

設定	説明
手動設定	▶ を押すと、タイムコードの開始時間を手動で設定できます。
現在時刻	現在のカメラの時間 / 分 / 秒がタイムコードの開始時間になります。
リセット	00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。

カウントアップ設定

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行うかを選べます。

設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

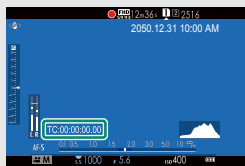
ドロップフレーム

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウンタと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のずれを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。



- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



TC:00:00:00.00

ON

TC:00:00:00.00

OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF** になります。

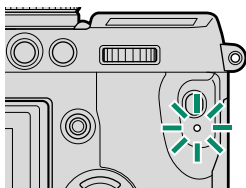
HDMI タイムコード出力

動画を HDMI で出力するときに、タイムコードを付加するかどうかを選びます。

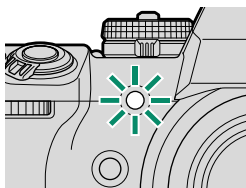
設定値	
ON	OFF

タリーランプ

動画撮影中に点灯するランプの切り替え（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）や点灯または点滅の設定を変更できます。



インジケータランプ



AF 補助光ランプ

設定	説明
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケータランプが点灯します。
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケータランプが点滅します。
前面 背面	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点灯します。
前面 背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点灯します。
前面 背面	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点滅します。
前面 背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点滅します。
前面 OFF 背面 OFF	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプは消灯します。

動画サイレント操作

ON にすると、動画撮影中にカメラの操作音が記録されないように、タッチ操作で撮影時の設定を変えられます（ダイヤル操作は無効になります。）。動画サイレント操作で設定できる機能については、「動画サイレント操作」（ 23）を参照してください。

設定値	
ON	OFF

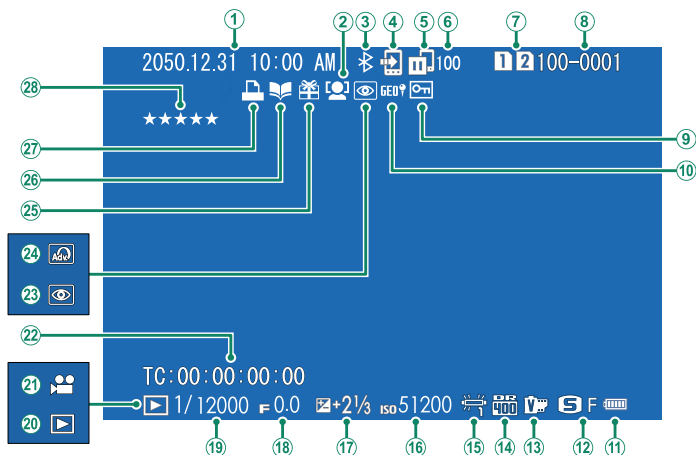
画像の再生と再生メニュー

7

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

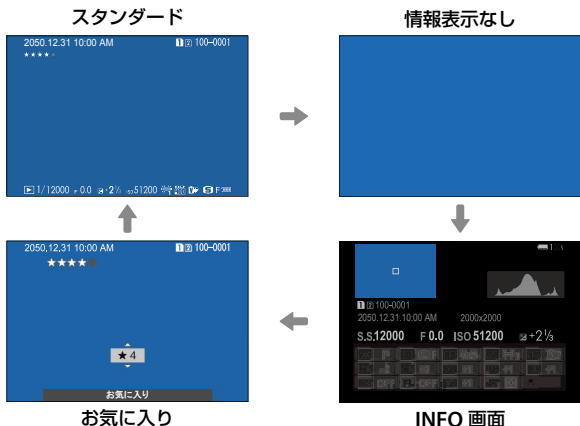
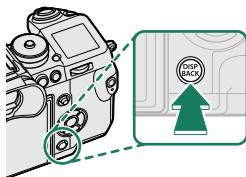
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



① 日付・時刻.....	39、41、179	⑮ ホワイトバランス	102
② 顔検出	117	⑯ ISO 感度	77
③ Bluetooth ON/OFF	206	⑰ 露出補正	80
④ 画像転送予約	169	⑱ 絞り値	57、62、63
⑤ 画像転送状況	244	⑲ シャッタースピード	57、58、63
⑥ 画像転送予約枚数	169	⑳ 再生モード	47
⑦ カードスロット	157	㉑ 動画アイコン	53
⑧ コマ NO.	203	㉒ タイムコード	148
⑨ プロテクト	164	㉓ 赤目補正	134、166
⑩ 位置情報	210、245	㉔ アドバンスドフィルター	87
⑪ バッテリー残量表示	38	㉕ プレゼント	47
⑫ 画像サイズ	98	㉖ フォトブックアシスト	171
画質モード	99	㉗ プリント予約	173
⑬ フィルムシミュレーション	100	㉘ お気に入り	153
⑭ ダイナミックレンジ	101		

情報表示の切り替え

再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



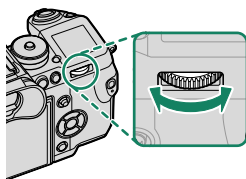
お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**お気に入り**のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。

再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。



1コマ再生画面



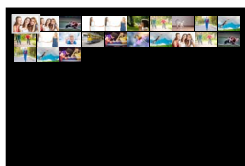
マルチ再生



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



DISP/BACK
MENU/OK



拡大再生 1

再生ズーム



拡大再生 2



再生ズーム

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。



- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ**によって変わります。
- 再生メニュー > リサイズ**または**トリミング**の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

ナビゲーションについて

拡大表示中に **▲▼◀▶** で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

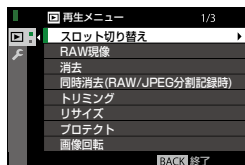


- ▲▼◀▶** で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- ▲** または **▼** でページを切り替えることもできます。

再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



スロット切り替え

画像を再生するメモリーカードを選びます。



ボタンを長押ししても、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

現像手順

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

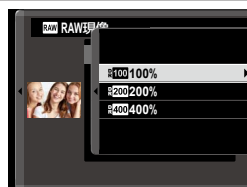
2 再生メニュー＞RAW 現像を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押します。
設定できる機能の一覧が表示されます。



4 ▲▼ で変更する項目を選びます。

5 ▶ で設定の変更に移ります。



6 ▲▼ で設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Q ボタンを押します。

保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押します。

JPEG 画像が保存されます。

 RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、RAW 現像を表示できます。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
D レンジ優先	明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を加えます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。

消去

画像を 1 コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1 コマ	画像を 1 コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

1 消去メニューから 1 コマを選びます。

2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を ▲▼◀▶ で選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は  が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。



- **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)

 保存設定 > カードスロット設定 (静止画記録) を RAW/JPEG 分割記録にして 2 枚のカードに記録した RAW 画像と JPEG 画像を同時に消去するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	RAW 画像を消去すると、別のカードに同時記録した JPEG 画像も消去されます。
OFF	RAW 画像を消去しても、別のカードに同時記録した JPEG 画像は消去されません。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング (切り抜く) できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > トリミングを選びます。
- 3 リアコマンドダイヤルとセレクターボタンでトリミングしたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。



- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2  再生メニュー > リサイズを選びます。

3 変更するサイズ (**M**、**S**、**640**) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニュー＞プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 手順3のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

 画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 回 再生メニュー > 画像回転を選びます。

3 セレクターボタンの ▼（時計回りに 90° 回転）または ▲（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。

4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。



- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
-  表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2  再生メニュー > 赤目補正を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。



- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの（ が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

ボイスメモ設定

静止画に最長 30 秒間の音声を記録できます。

1 再生メニュー＞ボイスメモ設定を ON にします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲または ▼ を押して再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、 **音設定**＞**再生音量**でも設定できます。

画像コピー

カメラのメモリーカードスロット1(以下、スロット1)に装着したメモリーカードとメモリーカードスロット2(以下、スロット2)に装着したメモリーカードとの間で、画像をコピーできます。

1 再生メニュー > 画像コピーを選びます。

2 コピーの方法を選びます。

設定	説明
スロット1⇒スロット2	スロット1のメモリーカードの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット2⇒スロット1	スロット2のメモリーカードの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。

3 ▶ を押します。

4 コピーするコマ数を選びます。

設定	説明
1コマ	表示中の画像をコピーします。 • 手順5のあとに ◀ または ▶ で、続けてコピーする画像を選べます。
全コマ	すべての画像をコピーします。

5 MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。

 コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。

画像転送予約

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送する画像を予約できます。

1 回再生メニュー＞画像転送予約＞コマ選択を選びます。

2 転送予約する画像を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、画像を転送予約します。



手順 2 と 3 を繰り返して、転送したい画像をすべて予約します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、画像の転送予約を終了します。

再生画面に戻ります。



■ 接続設定＞Bluetooth 設定＞Bluetooth ON/OFF が ON で、撮影後自動画像転送が ON のときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、画像転送予約した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- **■ 接続設定＞共通設定＞🔊 ボタン設定をペアリング/送信予約に設定しておく、Fn1 ボタンを押しても転送予約できます。**
- **画像転送予約＞予約リセット**を選ぶと、すべての転送予約を解除できます。
- **■ 接続設定＞Bluetooth 設定＞撮影後自動画像転送を ON にして、撮影した画像を自動的に転送予約することもできます。**

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

操作方法

設定	説明
MENU/OK ボタン	スライドショーを開始 / 終了します。
DISP/BACK ボタン	スライドショー終了のガイダンスを表示します。
◀ または ▶	コマ送りします。



スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニュー＞フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除し、▼ で表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ばと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ最新の PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。



「FUJIFILM PC AutoSave」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラーデジタルプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

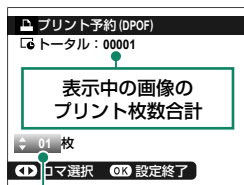
設定	説明
日付あり設定 	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 プリント予約する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。



DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。



プリント枚数



手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。



- DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。
あらかじめ **接続設定 > instax プリンター接続設定**で、instax SHARE
プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力しておく必要が
あります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 **再生メニュー > instax プリンタープリント**を選ぶと、カメラとプリンターの接続
が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタ
ンを押します。

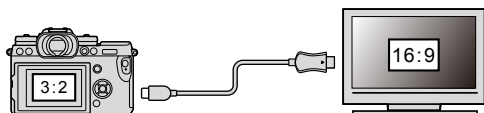


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



	設定	
	16:9	3:2
イメージ		



16:9 に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。**3:2** に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

[illegible]

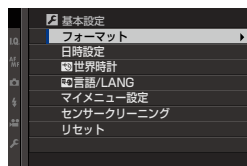
セットアップメニュー

8

セットアップメニュー（基本設定）

カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**基本設定**を選びます。



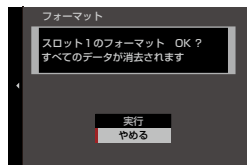
フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

1 セットアップメニューから  **基本設定** > **フォーマット**を選びます。

2 フォーマットしたいメモリーカードが入っているスロット（スロット1/スロット2）を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



4 ▲ で実行を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

 確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

-  プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

 𠂇（消去）ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を押してもフォーマット画面を表示できます。

日時設定

日付と時刻を設定します。

1 セットアップメニューから **基本設定** > **日時設定** を選びます。

2 で年月日の並び順を選びます。

3 で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、 で設定する数字を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
ホーム	現在設定されている日時を表示します。
現地	旅行先の日時を表示します。

現地時間の設定方法

1 **現地** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 で設定する項目（+/-、時、分）を選び、 で設定する数字を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

現地 を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に と日時が約3秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

マイメニュー設定

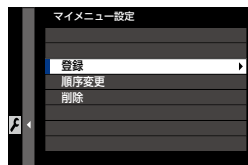
よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。
登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定**を選びます。

メニューが表示されます。



順序変更を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除**を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。



2 ▲▼ で登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

登録可能なメニューが青文字で表示されます。

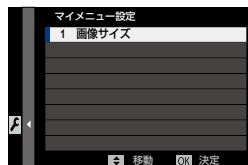


登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。



3 登録するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニューが登録されます。



4 **MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニュー登録画面に戻ります。

5 手順3と4を繰り返して、マイメニューを登録します。



最大 16 項目 (8 × 2 ページ) のメニューが登録できます。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。



センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、手動でセンサーをクリーニングしてください（[276](#)）。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選び MENU/OK ボタンを押します。

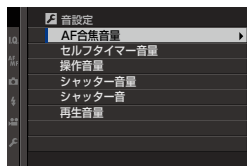
設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューの カスタム登録 / 編集 の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの 日時設定、世界時計、接続設定 の接続に関する設定以外がリセットされます。

2 確認画面で実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。

セットアップメニュー（音設定）

カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。



AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
 大	音量「大」に設定します。
 中	音量「中」に設定します。
 小	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。

シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
 1 サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
 2 サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
 3 サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

再生音量

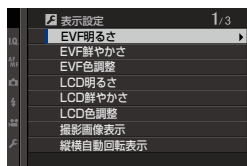
動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
10 ～ 1	音量を 1 ～ 10 に設定します。
0	音量をオフに設定します。

🔧 セットアップメニュー（表示設定）

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**🔧**（セットアップ）タブを選び、**表示設定**を選びます。



EVF 明るさ

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的に適切な明るさを調整します。
マニュアル	+5 ~ -7 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

EVF 色調整

EVF（ファインダー）の色調を調整できます。

1 ▲▼◀▶ で色調を調整します。



2 **MENU/OK** ボタンで決定します。

LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

1 ▲▼◀▶ で色調を調整します。

2 MENU/OK ボタンで決定します。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（M）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は OFF にしてください。

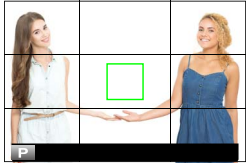
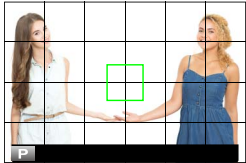
ナチュラルライブビュー

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	



- フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください (P.190)。
- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO や、Hyper Utility Software HS-V5 を使用して、HD フレーミングをお好みのフレーミングガイド表示にカスタマイズすることも可能です。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル（m）に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート（ft.）に設定します。

シネマレンズ使用時の絞り単位

別売のシネマレンズ FUJINON MKX シリーズレンズを使用したときの絞り値をシネマレンズ用の T 値（T ナンバー）で表示するか、通常のレンズと同じ F 値（F ナンバー）で表示するかを設定できます。シネマレンズの使い方については、レンズの使用説明書をご覧ください。

設定	説明
T 値	映画撮影用のレンズの絞り値の単位として一般的に使われています。レンズの透過率を考慮した実質的な明るさを表します。
F 値	通常のレンズで絞り値の単位として一般的に使われています。レンズの透過率が 100% であるという前提で明るさを表すため、レンズによっては実質的な明るさと異なる場合があります。

2 画面モード表示設定

情報表示切り替えの「2 画面」の表示設定を変更できます。

設定	説明
R: フォーカス L: フレーム	R（右）側の子画面（小さい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）に撮影画面全体を表示します。
R: フレーム L: フォーカス	R（右）側の子画面（小さい画面）に撮影画面全体を表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示します。

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます。

- 1 DISP/BACK ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。
- 2 セットアップメニューから  表示設定 > 画面のカスタマイズを選びます。
- 3 表示したい項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。
画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	☐	フラッシュ	☒
電子水準器	☐	連写モード	☒
AF フレーム	☒	ブレ防止	☒
AF 時の距離指標	☐	タッチパネルモード	☒
MF 時の距離指標	☒	ホワイトバランス	☒
ヒストグラム	☐	フィルムシミュレーション	☒
ライブビューハイライト警告	☐	ダイナミックレンジ	☒
撮影モード	☒	ブーストモード	☒
絞り / シャッター速度 / ISO	☒	撮影可能枚数	☒
情報表示背景	☒	画像サイズ & 画質モード	☒
露出補正表示	☐	動画モード & 録画時間	☒
露出補正ゲージ	☒	画像転送予約	☒
フォーカスモード	☒	マイクレベル	☒
測光	☒	バッテリー残量表示	☒
シャッター方式	☒	画面枠	☐

- 4 表示したい項目を選び、DISP/BACK ボタンを押します。
設定が保存されます。
- 5 DISP/BACK ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

サブ液晶モニター設定

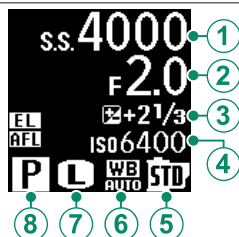
撮影時のサブ液晶モニターに表示したい項目を設定できます。静止画撮影時と動画撮影時をそれぞれ別々に設定できます。

1 セットアップメニューから **表示設定** > サブ液晶モニター設定を選びます。

2 静止画撮影時または動画撮影時を選びます。

3 表示位置 ①～⑧ に表示する項目をそれぞれ選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

「*」の付いている項目は動画撮影時に表示可能な項目です。



表示位置 ①～④ (テキストエリア)	表示位置 ⑤～⑧ (アイコンエリア)	
- シャッター速度* - 絞り* - 露出補正表示* - 感度* - 動画モード* - 撮影枚数 - 録画時間* - なし*	- 撮影モード* - 測光* - ドライブモード - フォーカスモード* - ホワイトバランス* - 画像サイズ - 画質モード - バッテリー残量表示*	- カードスロット設定* - シャッター方式 - フィルムシミュレーション* - ダイナミックレンジ - 動画モード - なし*

4 **DISP/BACK** ボタンを押します。

設定が保存されます。

サブ液晶モニター背景色

周囲の明るさや暗さに応じてサブ液晶モニターの背景色を変えることで、サブ液晶モニターを見やすくできます。

設定	説明
黒	暗い場所で撮影するときに選びます。
白	明るい場所で撮影するときに選びます。

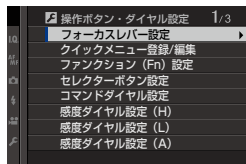
サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

セットアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)

カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
 ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

クイックメニュー登録 / 編集

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 セットアップメニューから 操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集を選びます。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|---|--|
| ☐ 画像サイズ | ☐ 顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| ☐ 画質モード | ☐ MF アシスト |
| ☒ フィルムシミュレーション | ☐ タッチパネルモード |
| ☒ グレイン・エフェクト | ☐ セルフタイマー |
| ☒ ダイナミックレンジ | ☐ シャッター方式 |
| ☒ D レンジ優先 | ☐ フラッシュ機能設定 |
| ☒ ホワイトバランス | ☐ フラッシュ調光補正 |
| ☒ ハイライトトーン | ☐ 動画モード |
| ☒ シャドウトーン | ☐ FULL HD ハイスピード動画 |
| ☒ カラー | ☐ フリッカー低減 |
| ☒ シャープネス | ☐ 内蔵 / 外部マイクレベル設定 |
| ☒ ノイズリダクション | ☐ EVF/LCD 明るさ |
| ☒ カスタム選択 | ☐ EVF/LCD 鮮やかさ |
| ☐ AF モード（動画 AF モード） | ☐ なし |
| ☐ AF-C カスタム設定 | |



- ☒印はカスタム登録が可能なメニューです。
- **なし**を選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- **カスタム選択**を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

3 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。



クイックメニューの割り当ては、撮影画面で **Q** ボタンを長押ししても変更できません。

ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

1 セットアップメニューから **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** を選びます。

2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- ドライブ設定
- セルフタイマー
- シャッター方式
- 感度 AUTO 設定
- 多重露出
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- FULL HD ハイスピード撮影
- フリッカー低減
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画サイレント操作
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- 絞り設定
- パフォーマンス
- 撮影後自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- 再生モード
- なし

3 割り当てる機能を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- 露出補正、AE LOCK のみ、AF LOCK のみ、AE/AF LOCK、AF-ON を T-Fn1 ～ 4（タッチファンクション）に割り当ててすることはできません。
- セレクターボタンだけで、2 つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、DISP/BACK ボタンを長押ししても変更できません。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押しの状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、モデリング発光を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光を行えます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**⚡ フラッシュ設定 > TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます（📖 135）。

セレクトボタン設定

セレクトボタンの設定を変更できます。

設定	説明
Fn ボタン	ファンクションボタンとして機能します。
フォーカスエリア	セレクトボタンでフォーカスエリアを選択できます。



フォーカスエリアのときは、ファンクションボタンに割り当てられている機能は使用できなくなります。

コマンドダイヤル設定

フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

設定	説明
フロントコマンドダイヤル 1	フロントコマンドダイヤル 1 にシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト)) または絞り値 (絞り) *1 を割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 2	フロントコマンドダイヤル 2 とフロントコマンドダイヤル 3 に、シャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り) *1、ISO 感度 (ISO) *2、またはなしを割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 3	
リアコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル回転時の機能をシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り) *1、ISO 感度 (ISO) *2、またはなしに設定します。
露出補正割り当て	(露出補正) ボタンを押しながら、露出を補正するコマンドダイヤルを設定します。 ● フロントコマンドダイヤル：フロントコマンドダイヤルを回して露出を補正します。 ● リアコマンドダイヤル：リアコマンドダイヤルを回して露出を補正します。 ● 両方：フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルを回して露出を補正します。

*1 絞りの設定が **A** (オート) で、 **操作ボタン・ダイヤル設定** > **絞りリング設定 (A)** がコマンドのとき、または絞りリングなしレンズを装着しているとき

*2 感度ダイヤルが **A** の位置で **操作ボタン・ダイヤル設定** > **感度ダイヤル設定 (A)** がコマンドの場合



- **コマンドダイヤル設定**は、フロントコマンドダイヤルの中央を長押ししても設定できます。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すたびに、フロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3 の順に切り換えます。

感度ダイヤル設定（H）

感度ダイヤルの **H** に割り当てる拡張感度を変更できます。

設定	説明
25600	感度ダイヤルの H （拡張感度）の位置を ISO 25600 に設定します。
51200	感度ダイヤルの H （拡張感度）の位置を ISO 51200 に設定します。

感度ダイヤル設定（L）

感度ダイヤルの **L** に割り当てる拡張感度を変更できます。

設定	説明
100	感度ダイヤルの L （拡張感度）の位置を ISO 100 に設定します。
125	感度ダイヤルの L （拡張感度）の位置を ISO 125 に設定します。
160	感度ダイヤルの L （拡張感度）の位置を ISO 160 に設定します。

感度ダイヤル設定（A）

感度ダイヤルの **A** に割り当てる感度を変更できます。

設定	説明
AUTO	感度ダイヤルを A に合わせると、被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。☑ 撮影設定 > 感度 AUTO 設定 で AUTO1 、 AUTO2 、 AUTO3 の設定を選びます。
コマンド	感度ダイヤルを A に合わせると、フロントコマンドダイヤルで ISO 感度を設定できます。

半押し AF

ON にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	● ON：シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。
AF-C	● ON：シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ON にすると、シャッターボタン半押し時に AE ロック (露出を固定) します。

サブメニュー	説明
AF-S/MF	● ON：シャッターボタンを半押しすると、AE ロック (露出を固定) します。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししても AE ロックしません。
AF-C	● ON：シャッターボタンを半押ししている間、AE ロック (露出を固定) し続けます。 ● OFF：シャッターボタンを半押ししても AE ロックしません。



連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

レンズなしリリース

ON にすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値	
ON	OFF

カードなしリリース

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンリニア	回転速度に応じず、移動量に対し一定でピント移動します。
リニア	リング操作の回転速度に応じてリニアにピントを移動します。

AE/AF-LOCK 設定

AE ロックまたは AF ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

露出補正ボタン設定

露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
 押下中のみ (P)	ボタンを押している間、リアコマンドダイヤルで露出を補正できます。
 押下切替 (S)	ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。

絞りリング設定 (A)

絞りの設定が **A** (オート) のときに、フロントコマンドダイヤルを回すと絞り値を任意で変えられるように変更できます。

設定	説明
AUTO	絞りの設定が A (オート) のときはカメラが自動で絞り値を設定します。
コマンド	絞りの設定が A (オート) のときも、フロントコマンドダイヤルを回して絞り値を変えられます。

絞り設定

絞りリングなしレンズを使用しているときの絞りの操作方法を選択できます。

設定	説明
オート+  マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。また、小絞り値からさらにダイヤルを回すと、 A (オート) も選べます。
オート	絞り設定がオートになります。プログラム (P) またはシャッタースピード優先 (S) になります。
マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。絞り優先 (A) またはマニュアル (M) になります。

タッチパネル設定

液晶画面（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

サブメニュー	説明								
タッチパネル ON/OFF	● ON：液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 ● OFF：液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用しません。								
EVF タッチパネル 有効範囲	EVF 使用時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用できます。 ● タッチパネルの有効範囲を次の中から選びます。 <table border="0"> <tr> <td>- （全画面で動作）</td><td>- （左半分で動作）</td></tr> <tr> <td>- （右半分で動作）</td><td>- （左上1/4側で動作）</td></tr> <tr> <td>- （右上1/4側で動作）</td><td>- （左下1/4側で動作）</td></tr> <tr> <td>- （右下1/4側で動作）</td><td></td></tr> </table> ● OFF を選ぶと、タッチパネルとして使用しません。	-  （全画面で動作）	-  （左半分で動作）	-  （右半分で動作）	-  （左上1/4側で動作）	-  （右上1/4側で動作）	-  （左下1/4側で動作）	-  （右下1/4側で動作）	
-  （全画面で動作）	-  （左半分で動作）								
-  （右半分で動作）	-  （左上1/4側で動作）								
-  （右上1/4側で動作）	-  （左下1/4側で動作）								
-  （右下1/4側で動作）									

ロック

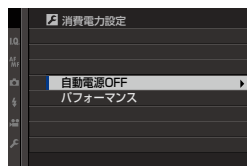
カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

サブメニュー	内容
ロック指定	● 解除：ロック指定を解除します。 ● 全てロック：機能別ロック設定で選択できる全てのボタンや機能を一括でロックします。 ● 機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

セットアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、消費電力設定を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5 分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2 分	
1 分	
30 秒	
15 秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

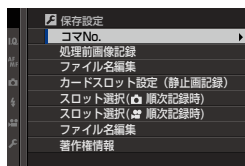
ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能やファインダー表示の性能がアップします。

設定	AF 性能（速さ）	ファインダー表示	
		画質	フレームレート
ブースト	最速	高画質	約 100fps
ノーマル	標準	標準	約 60fps

セットアップメニュー（保存設定）

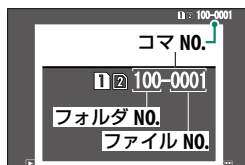
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**保存設定**を選びます。



コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO.（フォルダ NO. - ファイル NO.）の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
-  **基本設定** > **リセット**を行っても**コマ NO.**はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

処理前画像記録

ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

設定値	
ON	OFF

ファイル名編集

ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

カードスロット設定（静止画記録）

2 枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2 枚のメモリーカードに同時に保存します。
RAW/JPEG 分割記録	メモリーカードスロット 1 のメモリーカードには RAW 画像を、メモリーカードスロット 2 のメモリーカードには JPEG 画像をそれぞれ保存します。

スロット選択 (📷 順次記録時)

カードスロット設定（静止画記録）が順次記録のときに、記録するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

設定値	
スロット 1	スロット 2

スロット選択 (👤 順次記録時)

動画を記録するメモリーカードスロットを変更できます。

設定	説明
スロット 1	動画ファイルをメモリーカードスロット 1 に挿入されているメモリーカードに記録します。
スロット 2	動画ファイルをメモリーカードスロット 2 に挿入されているメモリーカードに記録します。

フォルダ選択

記録フォルダーを別のフォルダーに切り換えたり、新規作成したりできます。

フォルダ選択

▲▼ で既存のフォルダーを選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、次に撮影する画像は選んだフォルダーに保存されます。

フォルダ作成

5 桁のフォルダー名を入力すると、フォルダーを新規作成します。次に撮影する画像はそのフォルダーに保存されます。

著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

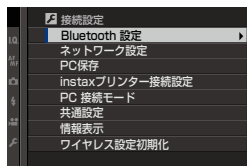
設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 著作権情報の削除 を行ってから撮影してください。



セットアップメニュー（接続設定）

他機器との接続に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セットアップ）タブを選び、**接続設定**を選びます。



無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

Bluetooth 設定

Bluetooth 接続に関する設定を行います。

サブメニュー	内容
ペアリング登録	スマートフォンにインストールされている「FUJIFILM Camera Remote」の ペアリング登録 を押すと、ペアリングを開始します。
ペアリング削除	ペアリング登録されているスマートフォンとのペアリングを解除します。
Bluetooth ON/OFF	● ON：カメラの電源をオンにすると、常にペアリング登録されているスマートフォンと Bluetooth 接続します。 ● OFF：Bluetooth 接続しません。
撮影後自動画像転送	● ON：撮影後に画像を転送予約します。転送予約できる画像は JPEG のみです。 ● OFF：撮影後に画像を転送予約しません。



- スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。
- Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**撮影後自動画像転送** が **ON** のときや再生メニューの**画像転送予約**を設定しているときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- 撮影後自動画像転送** が **OFF** の場合は、**再生メニュー** > **画像転送予約**で、転送予約する画像を選んで転送予約することもできます。

ネットワーク設定

無線 LAN（ワイヤレス）に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
ワイヤレスアクセス ポイント設定	● 簡単設定：アクセスポイントに簡単接続で接続します。 ● 手動設定：アクセスポイントにマニュアル操作で接続します。無線 LAN ルーター選択、SSID 入力を手動で行います。
ワイヤレス IP アドレス設定	● 自動：IP アドレスを自動で設定します。 ● 手動：IP アドレスを手動で設定します。IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイの設定をそれぞれ手動で行います。

PC 保存

PC 保存に関する設定を行います。

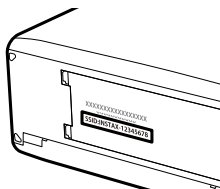
サブメニュー	内容
PC 保存先設定	● 簡単設定：無線 LAN ルーターに簡単接続(WPS)で接続し、保存先(PC)を設定します。 ● 手動設定：無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先(PC)を設定します。無線 LAN ルーター選択、SSID 入力を手動で行います。
保存先削除	設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。
前回接続情報	直近に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

プリンター名（SSID）とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



PC 接続モード

パソコンとカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USBカードリーダー	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパソコンに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー撮影 自動	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にPC 撮影モードになります。FUJIFILM X Acquire を使って、カメラの設定の保存、読み込みを行うこともできます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有するときに便利です。 接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー撮影 固定	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続していない時も PC 撮影モードになります。工場出荷時の設定では撮影画像がメモリーカードに記録されません。PC 撮影中に USB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度 USB ケーブルを接続すると、撮影画像がパソコンに転送、保存されます。
ワイヤレス テザー撮影 固定	ワイヤレス 接続で PC 撮影モードになります。  接続設定 > ネットワーク設定 でアクセスポイントを設定してください。
USB RAW 現像	FUJIFILM X RAW STUDIO をインストールしたパソコンとカメラを USB ケーブルで接続すると、自動的に「USB RAW 現像」が可能なモードになり、カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質に RAW 現像を行います。 接続していないときは通常のカメラとして動作します。

 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** の設定は、PC 撮影中にも有効になります。PC 撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。

 「Adobe® Photoshop® Lightroom® 6/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC」、 「Hyper-Utility Software HS-V5」、 「FUJIFILM X Acquire」を使用すると、PC 撮影機能が使用できます。「Adobe® Photoshop® Lightroom® 6/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC」を使用する場合は別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」または別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」が必要です。「HS-V5」を使用する場合は、別売の「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」が必要です。「FUJIFILM X Acquire」は富士フィルムのホームページから無償でダウンロードできます。

共通設定

無線 LAN 機能に関する共通設定を変更できます。

サブメニュー	内容
名前	無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。
スマートフォン送信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 スマートフォン送信時  圧縮 を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 • ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。 • OFF：元画像のサイズのままで送信します。
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。
 ボタン設定	ファンクションボタンにワイヤレス通信を割り当てたときの設定を変更できます。 • ※ ペ어링 / 送信予約：ファンクションボタンを押すと、ペ어링または送信予約を行います。 •  ワイヤレス通信：ファンクションボタンを押すと、ワイヤレス通信を行います。

情報表示

カメラ本体の MAC アドレスと Bluetooth アドレスを表示します。

ワイヤレス設定初期化

無線通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

ショートカット機能

9

ショートカット機能について

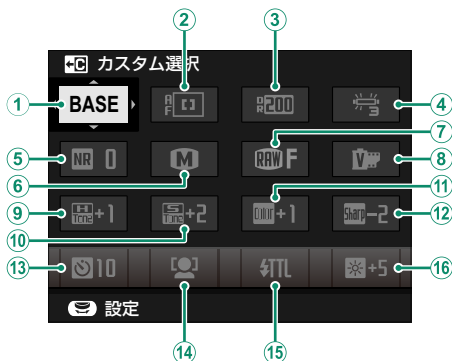
用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューを **Q** メニューやマイメニューに登録して使用したり、**Fn**（ファンクション）ボタンで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	📖
Q メニュー	Q ボタンを押すと Q メニューが表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q メニューで設定値を変更することもできます。	213
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 MENU/OK ボタンを押して、 MY （マイメニュー）タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	220
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能呼び出すことができます。	216

Q (クイックメニュー) ボタン

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。



工場出荷時の設定

① カスタム選択	⑨ ハイライトトーン
② AF モード	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ ノイズリダクション	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑦ 画質モード	⑮ フラッシュ機能設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ EVF/LCD 明るさ

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ換えることができます。

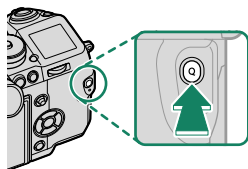
カスタム選択について

カスタム選択 (①) には、カスタム設定の読み込み状態が表示されます。

- **BASE** : カスタム設定を読み込んでいないときに表示します。
- **C1 ~ C7** : **画質設定 > カスタム登録 / 編集**で登録されたカスタム設定を表示します。
- **BASE** ~ **BASE** : 読み込まれたカスタム設定を表示します。

設定の確認と変更

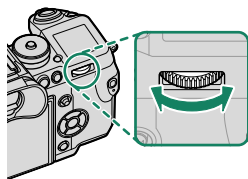
- 1 撮影画面で **Q** ボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。



- 2 設定を変更するメニュー項目を ▲▼◀▶ で選びます。



- 3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。
- 各設定内容を変更して読み込めますが、カスタム登録設定内容は変更できません。
 - **C1** ~ **C7** を選択中にカスタム登録項目を変更すると赤いマークがつきます。



- 4 **Q** ボタンを押します。
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

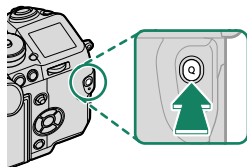
 クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 撮影画面で Q ボタンを長押しします。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|---|--|
| ☐ 画像サイズ | ☐ 顔検出 / 瞳 AF 設定 |
| ☐ 画質モード | ☐ MF アシスト |
| ☒ フィルムシミュレーション | ☐ タッチパネルモード |
| ☐ グレイン・エフェクト | ☐ セルフタイマー |
| ☒ ダイナミックレンジ | ☐ シャッター方式 |
| ☐ D レンズ優先 | ☐ フラッシュ機能設定 |
| ☐ ホワイトバランス | ☐ フラッシュ調光補正 |
| ☐ ハイライトトーン | ☐ 動画モード |
| ☐ シャドウトーン | ☐ FULL HD ハイスピード動画 |
| ☐ カラー | ☐ フリッカー低減 |
| ☐ シャープネス | ☐ 内蔵 / 外部マイクレベル設定 |
| ☐ ノイズリダクション | ☐ EVF/LCD 明るさ |
| ☐ カスタム選択 | ☐ EVF/LCD 鮮やかさ |
| ☐ AF モード (動画 AF モード) | ☐ なし |
| ☐ AF-C カスタム設定 | |



- 印はカスタム登録が可能なメニューです。
- なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

3 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。



クイックメニューの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集**からも設定できます。

Fn (ファンクション) ボタン

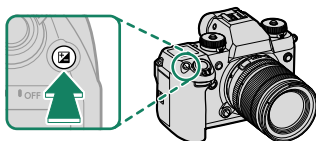
ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は以下のとおりです。



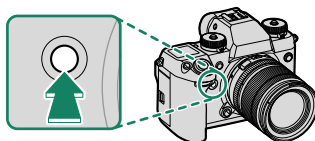
このカメラでは **T-Fn1 ~ 4** の機能はタッチパネル（液晶画面）のスワイプ動作で機能呼び出します。

Fn1 ボタン



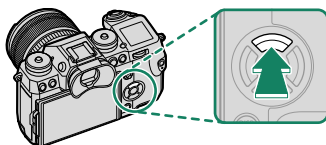
露出補正

Fn2 ボタン



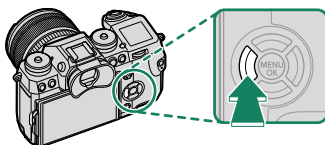
ドライブ設定

Fn3 ボタン



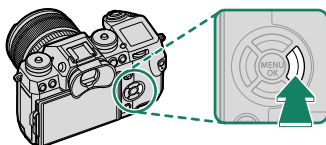
AF モード

Fn4 ボタン



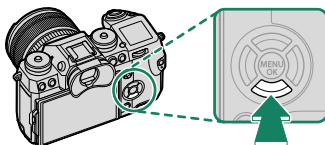
フィルムシミュレーション

Fn5 ボタン



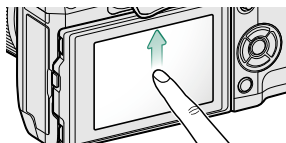
ホワイトバランス

Fn6 ボタン



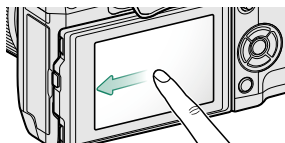
パフォーマンス

T-Fn1 (液晶画面を上フリック)



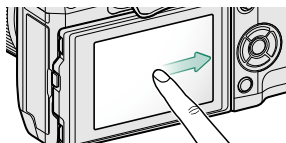
ヒストグラム

T-Fn2 (液晶画面を左フリック)



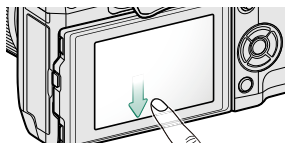
被写界深度

T-Fn3 (液晶画面を右フリック)



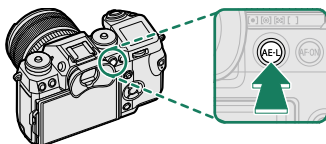
内蔵 / 外部マイクレベル設定

T-Fn4 (液晶画面を下フリック)



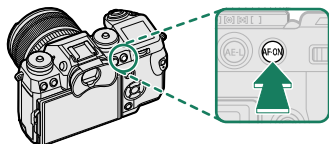
電子水準器

AE-L ボタン



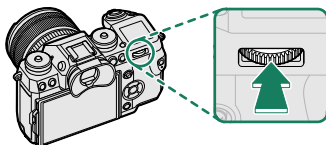
AE LOCK のみ

AF-ON ボタン



AF-ON

リアコマンドダイヤル中央押し

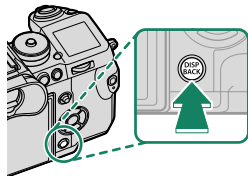


フォーカスチェック

ファンクションボタンの割り当て変更

DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。

1 撮影画面で **DISP/BACK** ボタンを長押しします。



2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- ドライブ設定
- セルフタイマー
- シャッター方式
- 感度 AUTO 設定
- 多重露出
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- FULL HD ハイスピード撮影
- フリッカー低減
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画サイレント操作
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- 絞り設定
- パフォーマンス
- 撮影後自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- 再生モード
- なし

3 割り当てる機能を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- 露出補正、AE LOCK のみ、AF LOCK のみ、AE/AF LOCK、AF-ON を T-Fn1 ~ 4 (タッチファンクション) に割り当ててはできません。
- セレクターボタンだけで、2 つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**からも設定できます。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押しの状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

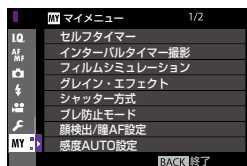
モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光を行えます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**フラッシュ設定 > TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます (135)。

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY**（マイメニュー）タブを選びます。

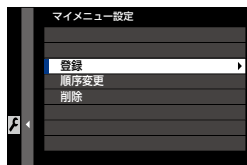


MY マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY**（マイメニュー）タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY**（マイメニュー）タブを選ぶと表示されます。

- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。
メニューが表示されます。



順序変更 を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

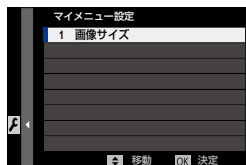
- 2 ▲▼ で登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

3 登録するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニューが登録されます。



4 **MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニュー登録画面に戻ります。

5 手順3と4を繰り返して、マイメニューを登録します。

 最大 16 項目 (8×2 ページ) のメニューが登録できます。

[illegible]

10

オプション品・ 外部機器の使い方

外部フラッシュを使用する

別売のクリップオンフラッシュを使うと、同梱フラッシュよりも大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応する FP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、

1 フラッシュ設定 > 赤目補正を **OFF** 以外に設定します。**2** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出を **ON** に設定する必要があります。

外部フラッシュの使い方を設定する

1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **f** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
同梱フラッシュ	同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 を接続して、ポップアップしている場合に表示されます。	92
シンクロターミナル	シンクロターミナルにフラッシュを接続して使用する場合の設定です。同梱フラッシュ EF-X8 を接続してポップアップしていない場合や、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、シンクロターミナルの設定画面が表示されます。	227
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	228
MASTER (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したマスターフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	231

3 フラッシュの設定を変更します。

▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

同梱フラッシュ

同梱のクリップオンフラッシュ EF-X8 を使ったフラッシュ撮影については、「フラッシュ撮影」(92) を参照してください。

シンクローターミナル

シンクローターミナルにフラッシュを接続して使用する際の設定です。フラッシュをポップアップしていない場合や、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクローターミナル**の設定画面が表示されます。



①モード（発光モード）

ホットシュー X 接点（シンクローターミナル）からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。

設定	説明
M	撮影に同期して、ホットシュー X 接点（シンクローターミナル）からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッタースピードを設定してください。
OFF	ホットシュー X 接点（シンクローターミナル）からトリガー信号を発行しません。

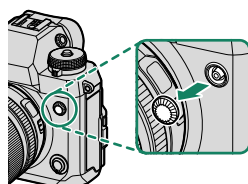
②同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
FRONT（先幕）	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
REAR（後幕）	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

シンクローターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクローターミナルに接続してください。



クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



①モード（発光モード）

フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。

設定	説明
TTL	TTL 自動調光で発光します。 調光補正 で発光量を調整できます。
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、 発光量 で発光強度を変更できます。
Multi	対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。
OFF	フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

②調光補正 / 発光量（発光強度）

- **モードが TTL** のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。
- **モードが M** のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光（ $1/1$ ）から $1/512$ 発光まで、 $1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

- **モードが Multi** のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、 $\frac{1}{4}$ 発光から $\frac{1}{512}$ 発光まで $\frac{1}{3}$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

③ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (**P**、**S**、**A**、**M**) によって選択可能な設定が異なります。

設定	説明
 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
 (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

④ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。
 (AUTO FP(HSS))	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。 モードが Multi のときは、 先幕 となります。

⑤ズーム設定

照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。**AUTO** の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

⑥配光設定（配光特性）

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。

設定	説明
 （光量優先）	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。
 （スタンダード）	撮影画角に対して最適な照射角にします。
 （配光優先）	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

⑦LED ライト設定

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLED ライトの用途を設定できます。

設定	説明
 （キャッチライト）	キャッチライトのみ使用します。
AF （AF 補助光）	AF 補助光のみ使用します。
 （AF 補助光 + キャッチライト）	AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。
OFF	どちらも使用しません。

⑦TIMES*（発光回数）

モードが **Multi** のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。

⑧Hz*（発光周波数）

モードが **Multi** のときに、発光周波数を設定します。

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

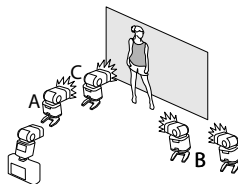
MASTER (光通信)

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュを接続している場合に表示されます。



富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



- ① **A グループモード（発光モード）**
- ② **B グループモード（発光モード）**
- ③ **C グループモード（発光モード）**

それぞれのグループの発光モードを設定します。

- A、B グループは **TTL/TTL%/M/Multi/OFF** から選択できます。
- C グループは **TTL/M/Multi/OFF** から選択できます。

設定	説明
TTL	TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。
TTL%	A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。
M	M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。
Multi	A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。
OFF	OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。

- ④ **A グループ調光補正 / 発光量（発光強度）**
- ⑤ **B グループ調光補正 / 発光量（発光強度）**
- ⑥ **C グループ調光補正 / 発光量（発光強度）**

グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。

- モードが **TTL** に設定されているときは調光補正を設定できます。
- モードが **M/Multi** に設定されているときは発光強度を設定できます。
- モードが **TTL%** に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。

補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

⑦ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード（P、S、A、M）によって選択可能な設定が異なります。

設定	説明
 (フラッシュ 発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
 (スタン ダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
 (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

⑧ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。
 (AUTO FP(HSS))	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕となります。

⑨ ズーム設定

照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

⑩配光設定（配光特性）

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。

設定	説明
 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。
 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。
 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

⑪MASTER 設定（MASTER 発光設定）

モードが **TTL**、**TTL%**、**M** のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。

⑪TIMES（発光回数）

モードが **Multi** のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。

⑫CH 設定

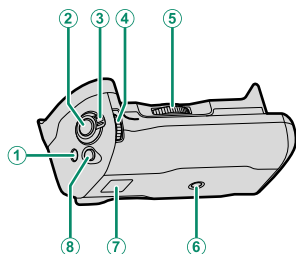
マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

⑫Hz（発光周波数）

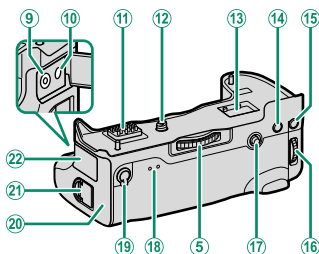
モードが **Multi** のときに、発光周波数を設定します。

縦位置パワーブースターグリップ

縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1 を装着すると、カメラ本体のバッテリーと合わせてバッテリー容量を増加させることができます。また、縦位置撮影の操作性が向上します。



- ① **Q** (クイックメニュー) ボタン
- ② シャッターボタン
- ③ キーロックスイッチ
- ④ フロントコマンドダイヤル / 割り当て切替ボタン
- ⑤ 着脱ダイヤル
- ⑥ 三脚ねじ穴
- ⑦ ストラップ取り付け部
- ⑧ **Fn1** ボタン
- ⑨ DCIN 9V 端子
- ⑩ ヘッドホン端子
- ⑪ 端子

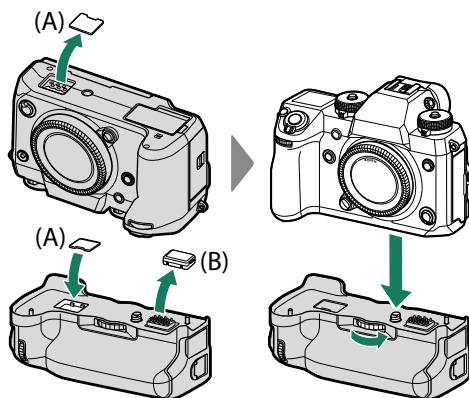


- ⑫ 装着ねじ
- ⑬ 端子カバー (カメラに付属) 収納スペース
- ⑭ **AF-ON** ボタン
- ⑮ **AE-L** ボタン
- ⑯ リアコマンドダイヤル / フォーカスアシストボタン
- ⑰ フォーカスレバー
- ⑱ インジケータランプ
- ⑲ パフォーマンス切替スイッチ
- ⑳ バッテリートレイ
- ㉑ バッテリーカバーロック
- ㉒ 端子カバー



それぞれの機能ボタンとコマンドダイヤルはカメラ本体の操作と同じです。

パワーブースターグリップの取り付け方



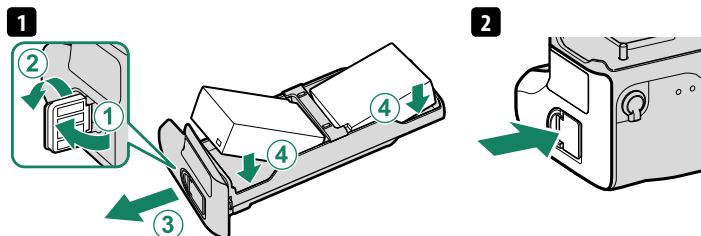
- パワーブースターグリップを取り付け / 取り外しする場合は、カメラ本体の電源がオフになっていることを確認してください。
- カメラの縦位置パワーブースターグリップ用端子カバー (A) は、グリップ側の収納スペースに収めることができます。パワーブースターグリップの端子キャップ (B) を取り外した後は、なくさないように保管してください。



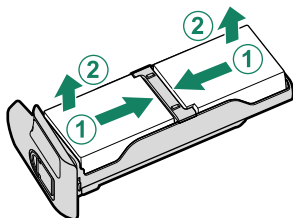
- 着脱ダイヤルは、しっかりと最後まで締めて固定してください。
- 端子には触らないようにしてください
- カメラからパワーブースターグリップを取り外したときは、縦位置パワーブースターグリップ用端子カバー (A) と端子キャップ (B) をそれぞれカメラとグリップに必ず取り付けてください。
- 水中で使用できる構造になっていません。ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などが本製品の内部に入らないようにご注意ください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。バッテリー挿入部、バッテリーカバーは、使用前に確実に閉まっていることをご確認ください。

バッテリーの入れ方 / 取り外し方

バッテリーを入れる



バッテリーを取り外す

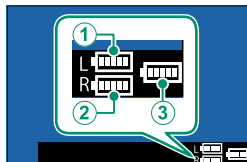


- パワーブースターグリップのバッテリーを交換をする場合は、カメラ本体の電源がオフになっていることを確認してください。
- バッテリーは、NP-W126S を使用できます。指定以外のバッテリーは使用しないでください。

縦位置パワーブースターグリップ使用時のバッテリー残量表示

縦位置パワーブースターグリップ使用時は、挿入されているバッテリーの残量をそれぞれ表示します。

- 挿入されているバッテリー残量のみ表示されます。
 - フル充電のバッテリーを3本使用したときは、次の順序でバッテリー容量が空になります。
- ① パワーブースターグリップ (L : 左)
 - ② パワーブースターグリップ (R : 右)
 - ③ カメラ本体



パワーブースターグリップの使い方

パワーブースターグリップを装着してパワーブーストモードにすると、連写コマ数やリリースタイムラグの性能がアップします。パワーブーストモードの切り替えはパフォーマンス切替スイッチで行います。

設定	連写コマ数	リリースタイムラグ
BOOST (ブースト)	11fps*/8.0fps	45msec*
NORMAL (ノーマル)	8.0fps	50msec

* 残量が残っているバッテリーが2個以上必要となります。AC パワーアダプター使用時は、カメラ本体内に残量が残っているバッテリーが必要となります。



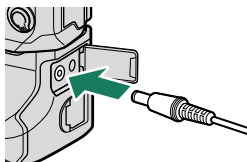
動画、長時間露光、連写、インターバル撮影時はバッテリー残量や温度によっては、撮影が終了する場合があります。



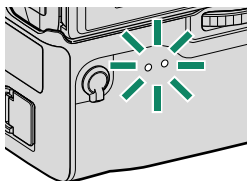
- 消費電力設定> パフォーマンスでノーマルを選択していてもパフォーマンス切替スイッチによる設定が有効となります。
- 電子シャッター使用時の連写コマ数は **14fps** まで選べます。

パワーブースターグリップの充電方法

パワーブースターグリップは、カメラの電源をオフにするか、グリップをカメラから取り外した状態で、グリップに付属の AC パワーアダプター AC-9VS を DCIN 9V 端子に差し込んで充電します。



バッテリー充電中はグリップのインジケータランプが緑色に点灯します。右側のランプは右側に入っているバッテリーの状態を表し、左側のランプは左側に入っているバッテリーの状態を表します。



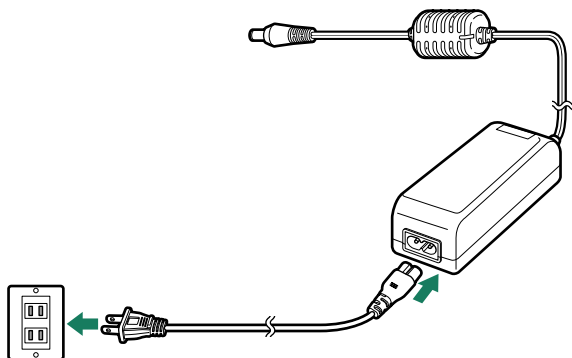
インジケータランプ	バッテリーの状態
消灯	フル充電（充電終了）
緑点灯	充電中
緑点滅	充電異常



- 充電時間は約 2 時間です（2 個同時）。
- カメラの電源がオンの場合、充電はされませんが、給電はできます。
- グリップに付属の AC パワーアダプター以外は使用しないでください。
- 充電についてのご注意は「バッテリーを充電する」と「お取り扱いにご注意ください」も併せてご参照ください（📖 30、264）。

AC パワーアダプター AC-9VS の使い方

AC パワーアダプター AC-9VS と電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。



! 付属の AC コードは、AC パワーアダプター AC-9VS 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

11

他機器との接続

HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

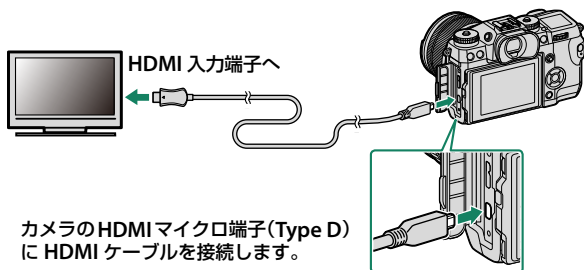
撮影画面の出力

4K 映像または FULL HD 映像のライブビューや動画をテレビに表示したり、外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
- 4 カメラの電源をオンにし、 (再生) ボタンを押します。
カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



- ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。



音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

無線通信で接続

カメラとスマートフォンやパソコンを無線で通信できます。無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)

カメラとスマートフォンは、Bluetooth または無線 LAN の 2 つの方法で接続できます。カメラとスマートフォンを接続するためにあらかじめスマートフォンへ専用のアプリケーションをインストールしてください。

FUJIFILM Camera Remote

カメラとスマートフォンを無線で通信するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。「FUJIFILM Camera Remote」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

Bluetooth® でスマートフォンとペアリングする

接続設定 > Bluetooth 設定のペアリング登録で、スマートフォンとカメラをペアリングできます。スマートフォンとペアリングすると、スマートフォンへ画像を簡単に転送できます。



 画像の転送は無線 LAN による通信で行われます。

無線 LAN でスマートフォンと通信する

📷 撮影設定または ⏮ 再生メニュー > ワイヤレス通信で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

パソコンに画像を保存する (FUJIFILM PC AutoSave)

カメラとパソコンは、無線 LAN (Wi-Fi) で接続できます。カメラとパソコンを接続するためにあらかじめパソコンへ専用のアプリケーションをインストールしてください。

FUJIFILM PC AutoSave

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存するには、保存先のパソコンにあらかじめ最新の PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。「FUJIFILM PC AutoSave」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

パソコンに画像を保存

再生メニュー > PC 保存で、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



PC 撮影機能を使用する (FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Tether Shooting Plug-in/Hyper-Utility Software HS-V5)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > ワイヤレステザー撮影 固定** に設定してください。
- 「FUJIFILM X Acquire」、 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」、 「Hyper-Utility Software HS-V5」などのソフトウェアをご使用ください。



- テザー撮影の詳しい方法は、以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/jp/#tether>

- 「FUJIFILM X Acquire」、 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」、 「Hyper-Utility Software HS-V5」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」 (p. 258) をご覧ください。

USB ケーブルでパソコンと接続

USB ケーブルでパソコンに接続すると、PC 撮影機能を使用したり、メモリーカードに撮影した画像をパソコンに転送したりできます。



実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

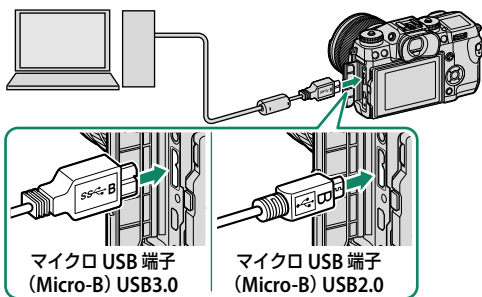
1 パソコンを起動します。

2 カメラを用途に応じた設定にします。

設定方法については、「PC 撮影機能を使用する (FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Tether Shooting Plug-in/Hyper-Utility Software HS-V5)」(250)、「メモリーカードに撮影した画像を転送する」(250)、「RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)」(251) をご覧ください。

3 カメラの電源をオフにします。

4 USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



- USB3.0 と USB2.0 のどちらのケーブルも使用できます。USB3.0 に対応したパソコンをお使いの場合は、USB3.0 のケーブルを使用するとより高速で画像を転送できます。
- USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

5 カメラの電源をオンにします。

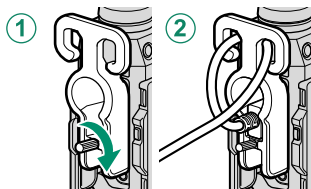
6 パソコンにインストールしたアプリケーションで PC 撮影または画像を取り込みます。

- **PC 撮影機能をご使用の場合**：「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」などで PC 撮影を行ってください。
- **画像転送機能をご使用の場合**：MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。

7 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外します。

ケーブルプロテクターについて

- ① ケーブルプロテクターは、USB ケーブルなどを使っているときに、ケーブルに引っかかってケーブルが抜けたりするのを防ぐためのものです。プロテクターは、図のように取り付け、ネジを回して固定します。
- ② ケーブルを差し込んで、図のように通します。





- USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由せず、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

PC 撮影機能を使用する (FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Tether Shooting Plug-in/Hyper-Utility Software HS-V5)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > USB テザー撮影 自動** または **USB テザー撮影 固定** に設定してください。
- 「FUJIFILM X Acquire」、「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」、「Hyper-Utility Software HS-V5」などのソフトウェアをご使用ください。



- テザー撮影の詳しい方法は、以下のサイトをご覧ください。
<http://app.fujifilm-dsc.com/jp/#tether>
- 「FUJIFILM X Acquire」、「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」、「Hyper-Utility Software HS-V5」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(P.258) をご覧ください。

メモリーカードに撮影した画像を転送する

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > USB カードリーダー** に設定してください。
- お使いのパソコンに適したソフトウェアをご使用ください。



Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X / macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

Windows をお使いの方 (MyFinePix Studio)

Windows をお使いの方は「MyFinePix Studio」を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。

- 「MyFinePix Studio」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(P.258) をご覧ください。

RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > PC 接続モード > USB RAW 現像** に設定してください。
- 「FUJIFILM X RAW STUDIO」をご使用ください。



「FUJIFILM X RAW STUDIO」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(p. 258) をご覧ください。

instax SHARE プリンターと接続

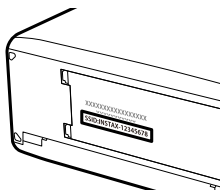
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

■ 接続設定 > instax プリンター接続設定を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力します。

プリンター名（SSID）とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

[illegible]

12

資料

カメラで使える別売アクセサリー

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリーを使用できます。最新情報については、以下をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

充電式バッテリー NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

バッテリーチャージャー BC-W126：充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S を充電します。充電時間は約 150 分（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。

DC カブラー CP-W126：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にパワーブースタグリップに付属している AC パワーアダプター AC-9VS と併用してお使いください。

リモートリリース RR-90：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。

ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

XF シリーズレンズ/XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。

シネマレンズ FUJINON MKX シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用のシネマレンズです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 1.4 倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 2.0 倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

ワイドアイカップ EC-XH W：ファインダー接眼部に装着する、遮光性の高いワイドタイプのアイカップです。

クリップオンフラッシュ EF-X500：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、富士フィルム光通信多灯システムのマスターフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

バッテリーパック EF-BP1：クリップオンフラッシュ用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

クリップオンフラッシュ EF-42：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-X20：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-20：TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1 (235)

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。ハンドグリップと組み合わせてお使いいただくことにより、さらに安定性が向上いたします。

カバーキット CVR-XT2：X-H1 用カバーキットです。シンクロターミナルカバー、ホットシューカバー、縦位置バッテリーグリップ用端子カバー（各 1 個）が入っています。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

 このカメラでは、AC パワーアダプター AC-9V は使用できません。

カメラで使えるソフトウェア

このカメラでは、以下の富士フイルム製ソフトウェアを使用できます。

FUJIFILM Camera Remote

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです (図 244)。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

FUJIFILM PC AutoSave

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できるパソコン用アプリケーションです (図 246)。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

MyFinePix Studio

画像管理ソフトウェアです。カメラで撮影した大量の画像を簡単に管理、閲覧、プリントでき、またアップロードや画像編集などを楽しむこともできます (図 250)。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

ダウンロードしたファイル「MFPS_Setup.EXE」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

RAW FILE CONVERTER EX 2.0

RAW 画像をパソコン上で現像できるパソコン用アプリケーションです (図 251)。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

FUJIFILM X RAW STUDIO

パソコンとデジタルカメラをUSBケーブルで接続して、パソコンに代わり、デジタルカメラに搭載している独自の画像処理エンジン「X Processor Pro」を使用して演算することで、高速かつ高品質なRAW現像を実現します。

<http://fujifilm-x.com/x-stories/fujifilm-x-raw-studio-features-users-guide/>

FUJIFILM X Acquire

カメラとパソコン（Windows/Mac）をUSBケーブルまたはWi-Fi経由で接続し、撮影した画像をパソコンに自動転送して指定したフォルダに保存できるパソコン用アプリケーションです。

<http://fujifilm-x.com/x-stories/fujifilm-x-acquire-features-users-guide/>

FUJIFILM Tether Shooting Plug-in (Lightroom 専用)

Adobe® Photoshop® Lightroom® 6/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CCのプラグインソフトウェアです。

- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO

<http://fujifilm-x.com/x-stories/fujifilm-tether-plug-in-pro-features/>

- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/accessories/others/#soft

Hyper-Utility Software HS-V5

カメラとパソコンをUSBケーブルまたはWi-Fi経由で接続し、カメラで撮影した画像を直接パソコンに保存したり、パソコンからカメラをコントロールしたりすることができるパソコン用アプリケーションです。

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/accessories/others/#soft

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。



電源プラグを
抜く

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。



風呂、シャワー
室での使用禁止

火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。



分解禁止

火災・感電の原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。



接触禁止

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買い上げ店にご相談ください。

△ 警告

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。



電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・ヤケドの原因になります。



指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。



カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。

・気温の高い環境でご使用になる場合

・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

⚠ 警告

電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。



- ・ 長時間ご使用になる場合
- ・ 気温の高い環境でご使用になる場合
- ・ 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。



火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

△ 注意



AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

電源プラグを
抜く

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

- 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返し使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が +15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。

弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

AC パワーアダプターについての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意**■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
-  xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は、富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop ならびに Lightroom は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。



本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40mであることを意味しています。

2.4XX8

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80mであることを意味しています。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

Bluetooth 機能は、電源を切っても機能が動く場合があります。Bluetooth 機能を停止させるためには、**接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF を OFF に設定**してください。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みにになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー
室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

分解禁止 火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

 感電したり、破損部でケガをする原因になります。

接触禁止 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽をみない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。



逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。

太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。

太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のよう
にお手入れすることをおすすめします。

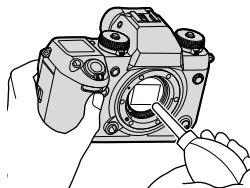
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **■ 基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブローアーでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ 基本設定 > センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、ブローアーでほこりを取り除いてください。

❗ クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの(交換)修理は有償(高額)となりますので、十分ご注意ください。

- 1 センサーの表面に付着したほこりをブローアー(ブラシの付いていないもの)で取り除きます。



- 2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

- 3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

- ブローアーはブラシの付いていないものを使用してください。ブローアーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
- 取り除けていない場合は、再度ブローアーでクリーニングしてください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種のファームウェア更新情報をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>

ファームウェアバージョンの確認方法

 バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認できませんので、ご注意ください。

1 カメラの電源をオフにします。

メモリーカードが入っていることを確認します。

2 DISP/BACK ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。

3 バージョンの確認ができれば、電源をオフにしてください。

 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	冊数
ON/OFF（電源）レバーを ON に合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	29
	バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	32
	バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかり閉めてください。	
ON/OFF（電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	液晶モニターが点灯するまで、シャッターボタンを半押しし続けてください。	—
バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
	プリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	116
	同じバッテリーを長時間使っていますか？	バッテリーの寿命の可能性あります。新品のバッテリーと交換してください。	—
使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	29

バッテリー、電源について

症状	ここをチェック！	処置	頁
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	29 32
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていますか？	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	32
		新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	256 305

メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	頁
メニューが日本語以外で表示されています。	言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	41 180

撮影時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	34 160
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	178
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	34
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	29
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	37
		他社製のマウントアダプターを使用していますか？	レンズなしリリースをON にしてください。	198
	シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	81
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータランプが消灯するまでお待ちください。	8

	症状	ここをチェック！	処置	目録
顔検出について	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	117
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されるときに、中央付近にならない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えない場合は、顔検出を使わずに AF/AE ロック撮影してください。	81
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	フラッシュが使用できる設定に変更してください。	94
		バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	29
		ドライブモードが連写やブラケットングになっていませんか？	ドライブモードを連写やブラケットング以外に設定してください。	6
		フラッシュが閉じていませんか？	フラッシュをポップアップしてください。	92

症状		ここをチェック！	処置	📖
フラッシュについて	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください。	58 63 295
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	—
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	45
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	46
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。 ピクセルマッピング を実行してください。	108
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	37 291
		温度警告が表示されていませんか？		

再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていますか？	再生音量を調節してください。	183
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないでください。	—
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	—
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていますか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	164
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	203

接続時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	14
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	VIEW MODE ボタンによる切り替えが EVF ONLY +  になっていませんか？	ファインダーに目を近づけてください。 VIEW MODE ボタンを押して、他の設定に変更してください。	
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	242
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
		テレビの音量が小さくなっていますか？	テレビの音量を調節してください。	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	247
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	「MyFinePix Studio」を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	「MyFinePix Studio」(Windows) を使って、画像を取り込んでください。	

無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。
<http://digitalcamera.support.fujifilm.jp/app/>

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続できません。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	244
スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	244
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
	他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。 他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。	

症状	ここをチェック！	処置	
スマートフォンに送信できません。	動画が選択されていませんか？ (カメラ内閲覧機能の使用時)	動画の送信には時間がかかる場合があります。 またスマートフォンで再生できない動画の場合は動画モードを HD (1280 × 720) 以下のサイズに設定してください。 カメラ内閲覧機能については以下のサイトをご覧ください。 http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/	244
スマートフォンで受信した画像が開けません。	共通設定のスマートフォン送信時  圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時  圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	210

その他

	症 状	ここをチェック！	処 置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	32
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	29
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
	カメラが正常に作動しなくなっていました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	32 305
音について	音がでません。	音設定で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	182
Qメニュー	Q ボタンを押してもクイックメニューが表示されません。	TTL-LOCK 状態になっていませんか？	TTL-LOCK を解除してください。	135

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点減)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	- 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 - 適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	- 電源を入れ直してください。 - 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとしました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 コマ NO. を 新規 に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を 連番 に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	- プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 - プロテクトされているファイルを回転しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去/回転できません。プロテクトを解除してください。

警告表示	警告内容	処置
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません ❌ 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません ❌ 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。
❌ 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしてしました。	—
🔒 実行できません		
4K 設定とモニターが合っていない動画モードを変更してください	HDMI 接続機器とカメラの動画モードが合っていない。	適切な動画モードに変更すると接続できる場合があります (📖 137)。
!! (黄)	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
!! (赤)	カメラの温度が上昇しています。画面にノイズが多くなったり、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下したり、動画撮影ができなくなる場合があります。	

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体			
		SD メモリーカード			
画質		8GB		16GB	
		FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	3:2	540	800	1110	1660
	RAW (非圧縮)	150		320	
	RAW (ロスレス圧縮)	310		640	
動画 *1、*2	4K 2160 *3	9 分		20 分	
	FHD 1080 *4	9 分		20 分	
	FHD 720 *5	19 分		39 分	

*1 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。

*2 ビットレートが工場出荷時の設定の場合。

*3 連続して記録する場合、約 15 分で自動的に撮影を停止します。パワーブースターグリップ接続時は、約 30 分で自動的に撮影を停止します。

*4 連続して記録する場合、約 20 分で自動的に撮影を停止します。パワーブースターグリップ接続時は、約 30 分で自動的に撮影を停止します。

*5 連続して記録する場合、約 30 分で自動的に撮影を停止します。

! 動画を連続して撮影した場合、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能です。動画ファイルは分割して保存されるため、それぞれのファイルごとに再生が必要です。

主な仕様

システム														
製品名	FUJIFILM X-H1													
製品型番	FF170002													
有効画素数	約 2430 万画素													
撮像素子	23.5mm × 15.6mm (APS-C サイズ) X-Trans CMOS III、原色フィルター採用													
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)													
メモリーカード スロット	SD カード × 2 (UHS-II 対応)													
記録方式	・ 静止画 : DCF 準拠 ・ 圧縮 : Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 / DPOF 対応 ・ 非圧縮 / ロスレス圧縮 : RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり ・ 動画 : H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き ・ 音声 (ボイスメモ) : ステレオ (WAVE)													
記録画素数	<table><tr><td>L 3:2 (6000×4000)</td><td>L 16:9 (6000×3376)</td><td>L 1:1 (4000×4000)</td></tr><tr><td>M 3:2 (4240×2832)</td><td>M 16:9 (4240×2384)</td><td>M 1:1 (2832×2832)</td></tr><tr><td>S 3:2 (3008×2000)</td><td>S 16:9 (3008×1688)</td><td>S 1:1 (2000×2000)</td></tr></table> RAW (6000×4000) <table><tr><td>L パノラマ縦 (2160×9600)</td><td>L パノラマ横 (9600×1440)</td></tr><tr><td>M パノラマ縦 (2160×6400)</td><td>M パノラマ横 (6400×1440)</td></tr></table>	L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)	M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)	S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)	L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)	M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)
L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)												
M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)												
S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)												
L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)													
M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)													
レンズマウント	FUJIFILM X マウント													
撮影感度	・ 静止画 : ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 100、125、160、25600、51200 は拡張モード ・ 動画 : ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO、 ISO 25600 は拡張モード													
測光方式	・ TTL256分割測光 ・ マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点													
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル													
露出補正	・ 静止画 : -5EV ~ +5EV (1/3 段ステップ) ・ 動画 : -2EV ~ +2EV (1/3 段ステップ)													

システム

シャッタースピード

- **メカニカルシャッター**
 - Pモード：4秒～ $\frac{1}{8000}$ 秒
 - Aモード：30秒～ $\frac{1}{8000}$ 秒
 - S/Mモード：15分～ $\frac{1}{8000}$ 秒
 - バルブ：最長 60分
- **電子シャッター**
 - Pモード時：4秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - Aモード：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - S/Mモード：15分～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - バルブ：1秒固定
- **電子先幕シャッター、電子先幕＋メカニカル**
 - Pモード時：4秒～ $\frac{1}{8000}$ 秒
 - Aモード：30秒～ $\frac{1}{8000}$ 秒
 - S/Mモード：15分～ $\frac{1}{8000}$ 秒
 - バルブ：最長 60分
- **メカニカル＋電子、電子先幕＋メカニカル＋電子**
 - Pモード時：4秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - Aモード：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - S/Mモード：15分～ $\frac{1}{32000}$ 秒
 - バルブ：最長 60分

連写

連写モード		選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps]) JPEG	連続記録枚数
CH	14fps ^{*1}	14	約 40 コマ
	11fps ^{*2}	11	約 49 コマ
	8.0fps ^{*3}	8.0	約 51 コマ
CM	—	6.0	約 52 コマ
CL	5.0fps	5.0	約 54 コマ
	4.0fps	4.0	約 56 コマ
	3.0fps	3.0	約 59 コマ

^{*1} 電子シャッター使用時のみ

^{*2} 電子シャッター使用時またはパワーブースターグリップ装着時のみ

^{*3} パワーブースターグリップ未装着時



- ご使用のメモリーカードによって異なります。
- 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。

システム	
フォーカス	● モード: シングル AF、コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス (リング回転式) ● AF 方式: インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF)、AF 補助光付き ● AF フレーム選択: シングルポイント、ゾーン、ワイド/トラッキング、オール
ホワイトバランス	AUTO、カスタム 1 ~ 3、色温度 (ケルビン値) 設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中
セルフタイマー	OFF、2 秒、10 秒
フラッシュ発光モード	● モード: TTL (フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ)、マニュアル、コマンダー、OFF ● 同調モード: 先幕、後幕、AUTO FP (ハイスピードシンクロ) ● 赤目補正: 赤目抑制発光 + 補正処理、赤目抑制発光、補正処理、OFF
ホットシュー	あり (TTL フラッシュ対応)、同調シャッタースピード $1/250$ 秒以下
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード $1/250$ 秒以下
シンクロターミナル	あり
ファインダー (EVF)	0.5 型有機 EL ファインダー、約 369 万ドット、ファインダー倍率 0.75 倍 (35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m^{-1} のとき)、対角視野 約 38.0° (水平視野約 30.0°) ● 視度調節: $-4\text{m}^{-1} \sim +2\text{m}^{-1}$ (dpt) ● アイポイント: 約 23mm
液晶モニター (LCD)	● 背面: タッチパネル付き 3.0 型カラー液晶モニター、約 104 万ドット、3 方向チルト式 ● 天面: 1.28 型 memory LCD、128 × 128 ドット
動画 (ステレオ音声付き)	● 画像サイズ: 4K 16:9、4K 17:9、FHD 16:9、FHD 17:9、HD 16:9 ● フレームレート: 59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P ● ビットレート: 200Mbps、100Mbps、50Mbps
入出力端子	
マイク入力端子	ϕ 3.5mm ステレオミニジャック
デジタル入出力	マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB3.0/USB2.0 High-Speed
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)
リモートリリース端子	ϕ 2.5mm 3 極ミニジャック

電源部、その他

電源

充電式バッテリー NP-W126S (付属)

バッテリー作動可能枚数 / 時間の目安

バッテリーの種類：NP-W126S

XF35mmF1.4 R 使用時、P モード時

同梱フラッシュ非装着時

静止画撮影枚数

パフォーマンス	LCD	EVF
ブースト	約 220 枚	約 180 枚
ノーマル	約 310 枚	約 300 枚

縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1 装着時の静止画撮影枚数

パフォーマンス	LCD	EVF
ブースト	約 650 枚	約 530 枚
ノーマル	約 900 枚	約 870 枚

1 回の充電で撮影できる合計動画時間

画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
4K	約 35 分	約 45 分
FHD	約 45 分	約 75 分
ハイスピード動画	約 40 分	—

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなり、時間は短くなります。

本体外形寸法
(幅×高さ×奥行き)

139.8mm × 97.3mm × 85.5 (39.5") mm
* 突起部含まず、奥行きは最薄部表記

撮影時質量

約 673g (付属バッテリー、メモリーカード含む)

本体質量

約 623g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)

動作環境

温度：-10℃～+40℃

湿度：10%～80% (結露しないこと)

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	- 日本、中国：2412MHz～2472MHz (13ch) - 上記以外の国：2412MHz～2462MHz (11ch)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.0 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402MHz～2480MHz

クリップオンフラッシュ EF-X8

ガイドナンバー	ガイドナンバー GN8 (ISO 100)、GN11 (ISO 200)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	39.7mm × 24.2mm × 63.4mm (突起物を除く)
質量	約 41g

バッテリー NP-W126S

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

バッテリーチャージャー BC-W126

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	13～21VA
定格出力	DC 8.4V 0.6A
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-W126S
充電時間	約 150 分 (+20℃において)
使用温度	5℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	65mm × 91.5mm × 28mm (突起物を除く)
質量	約 77g (本体のみ)

縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1*

電源	● 適合バッテリー：充電式バッテリー NP-W126S ● AC 電源：AC パワーアダプター AC-9VS ● 充電時間：約 120 分（バッテリー 2 個同時充電）
使用温度	-10℃～+40℃（バッテリー充電時：0℃～+40℃）
本体外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	141.2mm × 56.6mm × 65.8mm（突起物を除く）
質量	約 300g（バッテリー含まず）

AC パワーアダプター AC-9VS*

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
定格出力	DC 9.0V 2.0A
使用温度	0℃～+40℃
本体外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	43.3mm × 31.3mm × 101mm（突起物を除く）
質量	約 170g（電源コードを除く）

*縦位置パワーブースターグリップ VPB-XH1 キットのみの同梱



質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。



仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【数字】

- 2 画面表示、16
- 2 画面モード表示設定、16
- 4K 映像出力先、145
- 4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)、146

【A～Z】

- A** (オート)、56, 77, 128
- A** (絞り優先撮影)、62
- AE/AF-LOCK 設定、199
- AE/AF ロック、81
- AE-L** (AE ロック) ボタン、82
- AE ブラケットング、83
- AE ロック、81, 82
- AF-C カスタム設定、112, 143
- AF-ON、195, 219
- AF-ON** ボタン、82
- AF+MF、118
- AF (オートフォーカス)、64
- AF 警告、8
- AF 合焦音量、182
- AF 補助光、116, 150
- AF ロック、81, 82
- AF ポイント表示、115
- AF モード、67, 111, 142
- B** (バルブ撮影)、60
- Bluetooth 設定、206
- C** (AF-C)、65, 68, 112, 120, 143
- CH 設定、136
- DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、15, 153
- DPOF 指定、173
- D レンズ優先、102
- EVF (ファインダー)、10, 14
- EVF 明るさ、14, 184
- EVF 鮮やかさ、14, 184
- EVF 色調整、184
- F-Log 撮影、141
- Fn** (ファンクション) ボタン、216

- FUJIFILM Camera Remote、133, 170, 206, 244, 258
- FUJIFILM PC AutoSave、172, 246, 258
- FUJIFILM instax SHARE、174, 208, 252, 258
- FULL HD 映像出力先、145
- FULL HD ハイスピード撮影、138
- HDMI、145, 242
- HDMI ケーブル、242
- HDMI 出力情報表示、145
- HDMI レックコントロール、146
- instax プリンター接続設定、208, 252
- instax プリンタープリント、174, 253
- ISO 感度変更、77
- ISO ブラケットング、84
- LCD (液晶モニター)、9, 12, 14, 21
- LCD 明るさ、14, 185
- LCD 鮮やかさ、14, 185
- LCD 色調整、185
- LED ライト設定、135
- MASTER 設定、136
- MASTER (光通信)、231
- MENU/OK** ボタン、20, 98, 157, 178
- MF アシスト、119, 144
- MyFinePix Studio、171, 250, 258
- M** (マニュアルフォーカス)、73
- P** (プログラム撮影)、44, 56
- P、S、A、M** 撮影、56
- PC 接続モード、209
- PC 保存、172, 207
- Q** (クイックメニュー) ボタン、213
- RAW FILE CONVERTER EX 2.0、258
- RAW 画像、99
- RAW 記録方式、99
- RAW 現像、158, 209, 259
- SD/SDHC/SDXC メモリーカード、36
- S** (シャッタースピード優先撮影)、58
- S** (AF-S)、65, 67, 120

T (タイム撮影)、59

TTL、94, 95, 228

TTL-LOCK、135, 195, 219

TTL-LOCK モード、135

USB ケーブル、31, 247

WB シフト、103

【あ】

アイカップ、15

アイセンサー、14

赤目補正、134, 166, 224

アドバンストフィルター、87, 88

アドレス、210

アフターサービス (修理)、305

アベレージ (測光)、79

赤目補正、96

後幕シャッター、95, 227, 229, 233

色温度、105

色空間、107, 159

インジケータランプ、8, 31, 150, 239

インターバルタイマー撮影、126

液晶モニター (LCD)、9, 12, 16

オーディオ設定、146

オートパワーオフ (自動電源 OFF)、202

オートフォーカス (AF) 撮影、64

オート (ISO) / **A** (オート)、128

オート (**A**) 設定、78

オプション品 (別売アクセサリ)、256

お手入れについて、275

オート (フラッシュ発光 AUTO)、95

オール (AF モード)、68, 70, 111

音設定 (セットアップメニュー)、182

【か】

カードスロット設定 (静止画記録)、204

カードなしリリース、199

海外で使うとき、269

外部フラッシュ (別売クリップオンフラッシュ)、224

外部マイク、51

顔検出 / 瞳 AF 設定、117, 144

顔検出 / 瞳 AF 設定 (動画)、144

拡大表示、72, 76, 156

画質設定 (撮影メニュー)、98

画質モード、99

カスタム選択、108

カスタム登録 (編集)、109

カスタムホワイトバランス、104

画像回転、165

画像コピー、168

画像サイズ、98

画像転送予約、169

カメラで使えるソフトウェア、258

画面のカスタマイズ、17, 190

カラー、106, 141

感度 (ISO 感度)、77

感度 AUTO 設定、128

感度ダイヤル、5, 77, 197

基準 ISO 感度、78, 128

基本設定 (セットアップメニュー)、178

共通設定、210

距離指標、75

記録画素数、293

クイックメニュー (**Q** メニュー) ボタン、193, 213, 215

クリップオンフラッシュ、92, 224, 225, 228

グレイン・エフェクト、101

ケーブルプロテクター、248

減感 (増感 / 減感)、159

言語、41, 180

交換レンズ、28

工場出荷時 (リセット)、181

合焦マーク、66

コマ NO. (コマナンバー)、203

コマンドダイヤル、7

コマンドダイヤル設定、196

コンティニュー AF (**C**)、65

【さ】

再生音量、183

再生時の表示画面、152

再生ズーム、156

- 再生方法、155
- 再生メニュー、v, 157
- 先幕シャッター、95, 227, 229, 233
- 撮影画像表示、186
- 撮影時の表示画面、10
- 撮影設定（撮影メニュー）、123
- 撮影メニュー、iv, 97
- サブ液晶モニター設定、19, 191
- サブ液晶モニター背景色、191
- 自動電源 OFF（オートパワーオフ）、202
- 視度調節ダイヤル、8
- シネマレンズ使用時の絞り単位、189
- 絞り設定、200
- 絞り優先（A）撮影、62
- 絞りリング設定（A）、200
- シャープネス、106, 141
- シャッター音、183
- シャッター音量、183
- シャッタースピード、5, 294
- シャッタースピードダイヤル / 感度ダイヤル、5
- シャッタースピード優先、58
- シャッター方式、127
- シャドウトーン、106, 140
- 周辺光量補正、131, 142
- ショートカット機能、212
- 消去、48, 160
- 上限 ISO 感度、78, 128
- 消費電力設定（セットアップメニュー）、202
- 情報表示の切り替え、15, 153
- 初期設定、39
- 処理前画像記録、204
- シングル AF（S）、65
- シングルポイント（AF モード）、67, 68, 111
- シンクロターミナル、224, 225, 227
- スタンダード画面、17
- ズームリング、45
- スポット（測光）、79
- スマートフォン、170, 244, 245
- スローシンクロ、95, 229, 233
- スロット切り替え、157
- スロット選択、204, 205
- 静止画（再生）、47
- 静止画（プログラム撮影）、44
- 世界時計、179
- 接続設定（セットアップメニュー）、206
- セットアップメニュー、vi, 177
- セルフタイマー、125
- セルフタイマー音量、182
- セレクトボタン、4
- セレクトボタン設定、196
- センサークリーニング、181, 275
- 操作音量、182
- 操作ボタン・ダイヤル設定（セットアップメニュー）、192
- ゾーン（AF モード）、67, 68, 111
- ゾーンエリア特性、114
- 増感（増感 / 減感）、159
- 速度変化特性、113
- 測光モード、79
- 測光 & フォーカスエリア連動、120
- ソフトウエア、258
- 【た】**
- ダイナミックレンジ、101, 139
- ダイナミックレンジブラケティング、84
- タイムコード設定、148
- タイム撮影（T）、59
- 多重露出、132
- タッチパネル設定、201
- タッチパネルモード、121
- タッチファンクション、23, 216
- 縦位置パワーブースタグリップ、235
- 縦表示、13
- 縦 / 横位置 AF モード切替、115
- 縦横自動回転再生、188
- 縦横自動回転表示、13, 186
- タリーランプ、150
- 中央部重点（測光）、79
- 長秒時ノイズ低減、107

著作権情報、205
低速シャッター限界、78, 128
デジカメプリント、173
デジタルスプリットイメージ、76
テレビ接続 (HDMI 出力)、242
電源、37
電子先幕シャッター (シャッター方式)、127
電子シャッター (シャッター方式)、127
電子水準器、18
点像復元処理、107
動画 AF モード、142
動画再生、53
動画サイレント操作、23, 150
動画撮影、50
動画設定 (撮影メニュー)、137
動画モード、137
同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)、162
ドライブ設定 (ドライブモード)、123
トリミング、162

[な]
長押し (**DISP/BACK** ボタン)、218
長押し (**Q** ボタン)、215
長押し (ゴミ箱ボタン)、178
長押し (再生ボタン)、47, 157
長押し (リアコマンドダイヤル中央)、7, 76
ナチュラルライブビュー、187
日時設定 / 日時変更、41, 179
ネットワーク設定、207
ノイズリダクション、107, 141

[は]
バージョンアップの確認方法、277
ハイスピードシンクロ (FP)、229, 233
ハイライトトーン、106, 140
パソコン接続、247
発光モード、94, 227, 228, 232
バッテリー、29, 32, 38, 235
パノラマ撮影、89
バルブ撮影 (**B**)、60

半押し AF、198
半押し AE、198
光通信 (MASTER)、231
ピクセルマッピング、108
被写体保持特性、113, 143
被写界深度確認、62, 75
被写界深度スケール、120
被写体保持特性、143
ヒストグラム表示、18
表示設定 (セットアップメニュー)、184
表示比率、175
標準撮影枚数 / 記録時間、292
ピントの確認、75
ファイル名編集、204
ファンクション (**Fn**) 設定、194
ファンクション (**Fn**) ボタン、216
フィルムシミュレーション、100, 139
フィルムシミュレーション BKT、84
フォーカス位置拡大、118
フォーカスエリア、69, 70, 71, 110, 142
フォーカスエリア選択、69, 110, 142
フォーカス設定 (撮影メニュー)、110
フォーカスチェック、119, 144
フォーカス点数切り替え、116
フォーカスピーキング、76, 119
フォーカスモード、65
フォーカス優先 (レリーズ優先 / フォーカス優先)、120
フォーカスリング、199
フォーカスリング操作、199
フォーカスレバー、4, 192
フォーマット (初期化)、178
フォトブックアシスト、171
フォルダ選択、205
ブラケティング撮影、83
フラッシュ撮影、92
フラッシュ設定 (撮影メニュー)、134
フラッシュ機能設定、94, 134, 225
ブースト、202, 238
ブリ AF、116, 143

フリッカー低減、128
プリント予約 (DPOF)、173
フレーミングガイド、188
ブレ防止モード、129
プログラム (P) 撮影、44, 56
プログラムシフト、57
プロテクト、164
フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、7, 196
別売アクセサリ、256
ボイスメモ設定、167
保存設定 (セットアップメニュー)、203
ホワイトバランス、102, 140
ホワイトバランスブラケティング、84

【ま】

マイクロ USB 端子、31, 61, 247
マイメニュー (マイメニュー設定)、180, 220
マウントアダプター設定、129
マニュアル (M) 撮影、63
マニュアル時モニター露出 / WB 反映、187
マニュアルフォーカス (M)、73
マルチ再生、156
マルチ (測光)、79
無線 LAN、244
銘板プレート、4
メカニカルシャッター (シャッター方式)、127
メモリーカード、34, 35
リアコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、7, 196
リサイズ、163
リセット、181
リモートリリース、61
リリース優先 (リリース優先 / フォーカス優先)、120
連写 (連続撮影)、85
レンズ (取付)、28
レンズなしリリース、198
露出補正、80

露出補正ボタン設定、200

ロスレス圧縮、99

ロック、201

【わ】

ワイド / トラッキング (AF モード)、68, 71, 111
ワイヤレス設定初期化、210
ワイヤレス通信、133, 170
ワンブッシュ AF 時の動作、120

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご利用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX 番号	
ご住所		〒 —	
製品名（型名）		ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	
修理品への添付		NO.	
		☐ 保証書 ☐ メモリーカード ☐ バッテリー ☐ （ ） ☐ （ ）	
見積		☐ 要（修理金額 円以上見積り） ☐ 不要	
見積連絡方法		☐ 電話 ☐ FAX	
故障症状 （故障時の様子）			
ご購入時期		20 年 月 ※保証書を添付してください。	
修理履歴		☐ 初回 ☐ 再依頼（ ☐ 同一症状 ☐ 別症状）	
発生状況	発生頻度	☐ 開始時のみ ☐ いつも ☐ 時々（ 日に 回）	
	動作モード	☐ 再生時 ☐ 撮影時 ☐ ショックを与えると	
	他機との接続	☐ 無 ☐ 有（接続機 ）	
	使用電源		

[illegible]

- 本製品に関するお問い合わせは… ※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30/土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

- 本製品の関連情報は… ※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A 検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

- 修理の受付は… ※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30/土曜日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1040

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■修理品ご送付受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも【FinePixクイックリペアサービス】

お預かりからお届けが最短3日の宅配修理サービス

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の＜修理ご相談受付窓口＞にてご確認ください。

- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711

(月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html

